

第14回「エネルギー政策検討会」

「地域振興について」

統計データから見た電源立地地域

平成14年3月11日

目 次

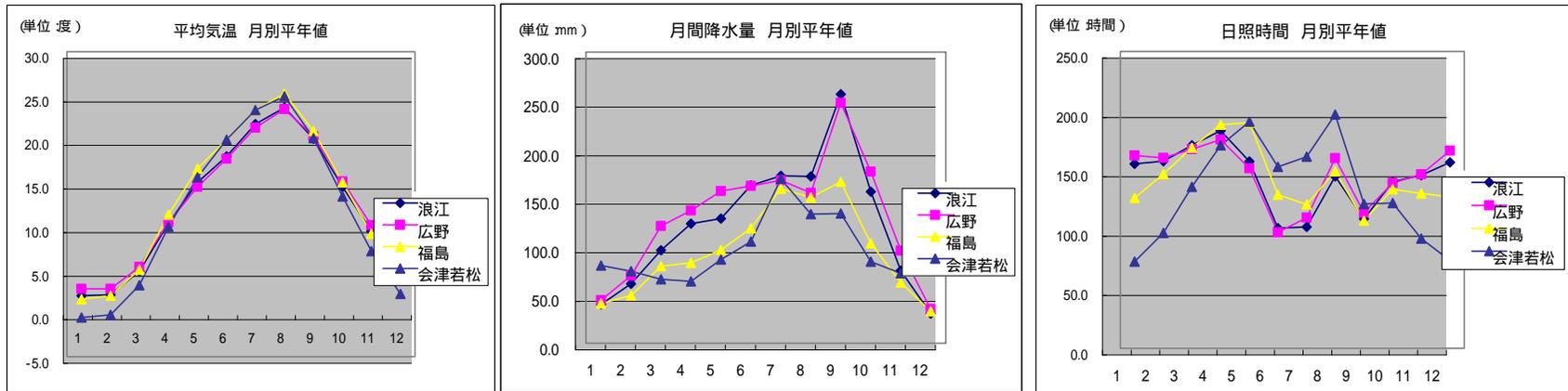
資 料	頁	資 料	頁
県内における東京電力（株）の原子力・火力発電所建設期間	1	福島第一・福島第二・広野火力の各発電所関連従事者数の推移	13
双葉地域の自然条件等について	2	福島第一原子力発電所関連従事者の常住地	14
1 人口・産業		福島第二原子力発電所関連従事者の常住地	15
人口の推移	3	広野火力発電所関連従事者の常住地	16
生産年齢人口 15～64歳人口の推移	4	2 財政	
就業者総数の推移	5	歳入総額の推移	17
産業別就業者の割合の推移（第1次産業）	6	人口一人当たりの歳出額	18
産業別就業者の割合の推移（第2次産業）	7	財政力指数の推移	19
産業別就業者の割合の推移（第3次産業）	8	地方税の推移	20
第2次産業就業者に占める建設業就業者の割合の推移	9	固定資産税の推移	21
第2次産業就業者に占める製造業就業者の割合の推移	10	法人町民税の推移	22
第3次産業就業者に占める電気ガス水道業就業者の割合の推移	11	地方債現在高の推移	23
従業地就業者数の推移	12	地方債現在高の推移（1自治体当たり現在高）	24

資 料	頁	資 料	頁
地方債依存度の推移	25	一人当たり市町村民分配所得の推移	39
公債費比率の推移	26	一人当たり市町村民家計所得の推移	40
財政調整基金の推移（1自治体当たり基金額）	27	4 社会基盤	
普通建設事業費の推移	28	道路改良率の推移	41
核燃料税収額の推移	29	道路舗装率の推移	42
電源立地促進対策交付金の推移	30	上水道等普及率の推移	43
電源三法交付金の使途	31 32	下水道等普及率の推移	44
立地5町における電源三法交付金等による施設整備の状況について	33	人口千人当たりの町村立体育館面積（平成11年度末時）	45
3 所得		人口千人当たりの病院・診療所施設数・病床数（平成11年度末時）	46
市町村内総生産の推移	34	公共施設の整備状況	47
市町村内総生産の推移（第1次産業）	35		
市町村内総生産の推移（第2次産業）	36		
市町村内総生産の推移（第3次産業）	37		
建設業における市町村内総生産の推移	38		

双葉地域の自然条件等について

発電所が立地する双葉地域は、福島県の東部にあたる太平洋沿岸部から阿武隈山系にかけて位置する地域であり、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村の6町2村からなっている。南北約40km、東西約30kmの広がりを持ち、面積は865.12㎡で県土の6.3%を占めている。

双葉地域の気候は、夏は涼しく冬は暖かい、東日本型海洋性気候であり、年間を通じて温暖な気候となっている。また、積雪も少なく、冬季でも日照時間が長い。

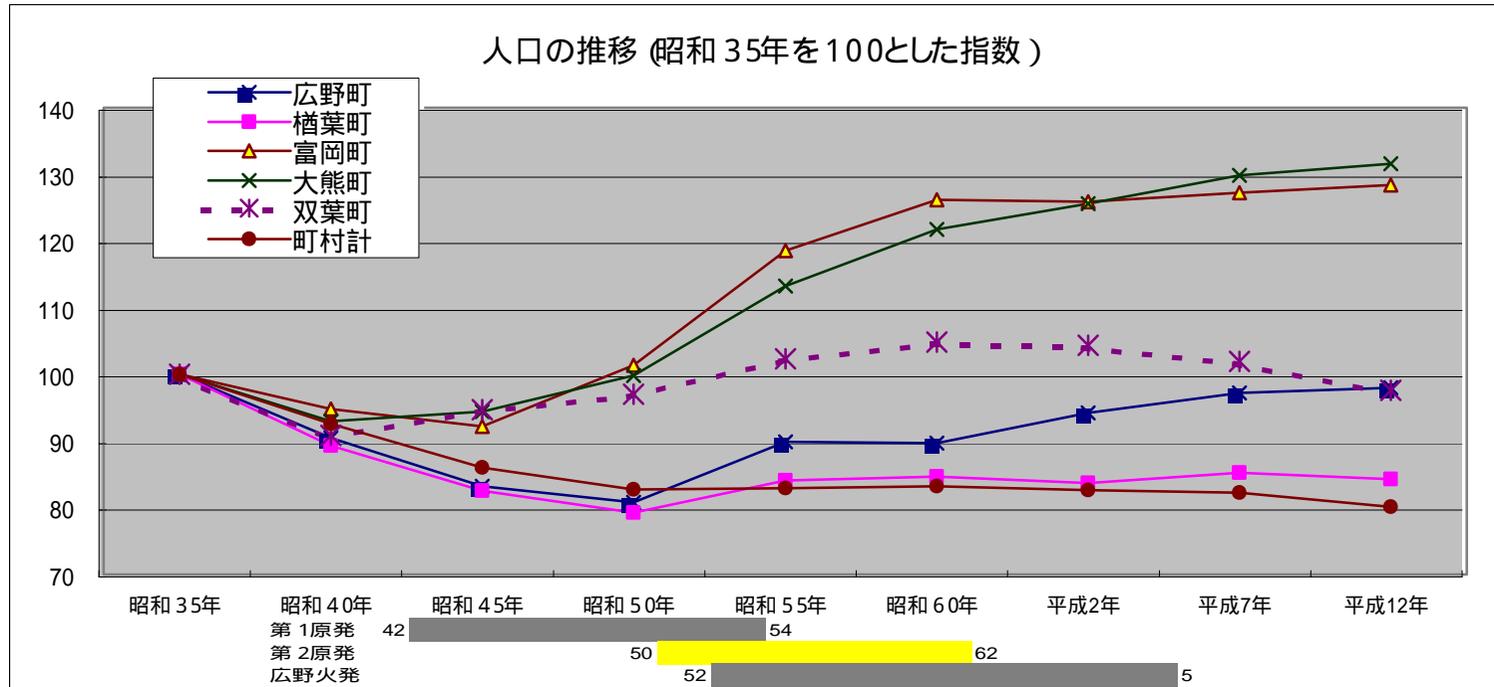


気象観測月別平年値

月	平均気温 (度)				月間降水量 (mm)				日照時間 (h)			
	浪江	広野	福島	会津若松	浪江	広野	福島	会津若松	浪江	広野	福島	会津若松
1	2.0	2.8	1.6	-0.5	40.0	44.4	40.9	80.1	155.3	162.3	126.6	72.9
2	2.1	2.8	2.0	-0.2	61.3	69.5	49.2	74.3	157.5	160.4	146.9	97.3
3	4.8	5.3	5.0	3.2	95.9	120.7	79.6	66.0	170.9	167.6	169.0	135.9
4	10.3	10.4	11.3	9.9	123.3	136.9	82.9	63.9	183.3	175.7	188.4	171.0
5	15.0	14.5	16.6	15.6	128.5	156.7	96.2	86.1	157.3	151.6	190.1	190.9
6	18.0	17.7	19.9	19.9	162.5	161.9	118.7	104.8	101.2	97.7	129.4	152.8
7	21.7	21.3	23.3	23.3	172.5	167.9	159.1	169.5	102.3	110.0	121.0	161.3
8	23.6	23.4	25.2	24.9	172.0	154.9	150.2	133.2	144.8	160.1	149.0	196.8
9	20.0	20.3	20.9	20.1	256.6	247.5	166.2	133.6	108.9	114.4	107.5	121.6
10	14.5	15.1	15.0	13.4	156.2	176.8	103.0	84.0	140.2	139.3	134.0	122.3
11	9.4	10.1	9.1	7.1	74.8	95.5	62.5	72.0	145.7	146.6	130.4	92.4
12	4.8	5.6	4.4	2.2	30.5	35.2	33.0	82.8	156.6	166.5	127.6	74.0
年平均	12.2	12.5	12.9	11.6								
年合計					1474.1	1567.9	1141.5	1150.3	1724.0	1752.2	1719.9	1589.2

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 福島地方気象台】

1 人口・産業

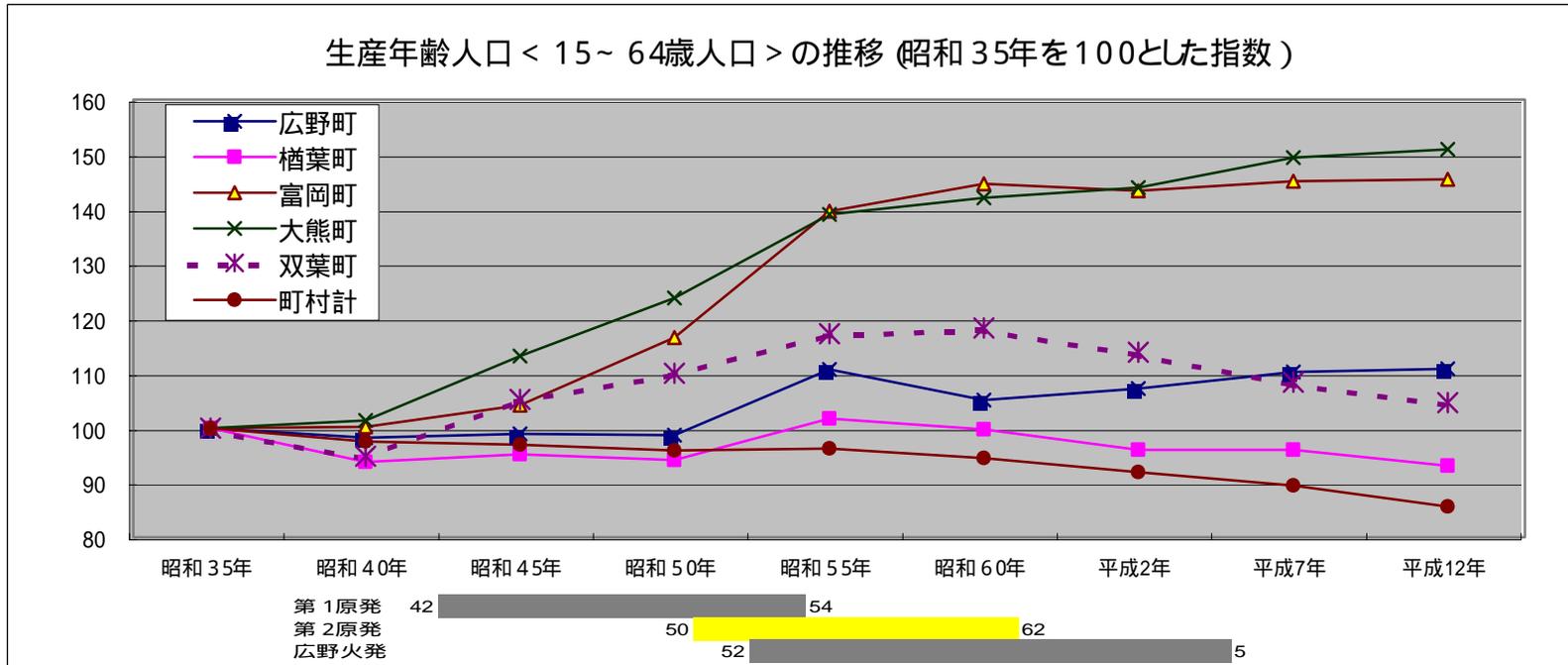


	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
広野町	100	90	83	81	90	90	94	97	98
榎葉町	100	89	83	79	84	85	84	85	84
富岡町	100	95	92	101	119	126	126	127	128
大熊町	100	93	94	100	113	122	126	130	132
双葉町	100	91	95	97	102	105	104	102	98
町村計	100	93	86	83	83	83	83	82	80

県内町村人口が一貫して減少している中で、立地5町のうち富岡町、大熊町の人口は発電所建設が開始されて以降、急激な増加傾向を示している。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 国勢調査】

1 人口・産業

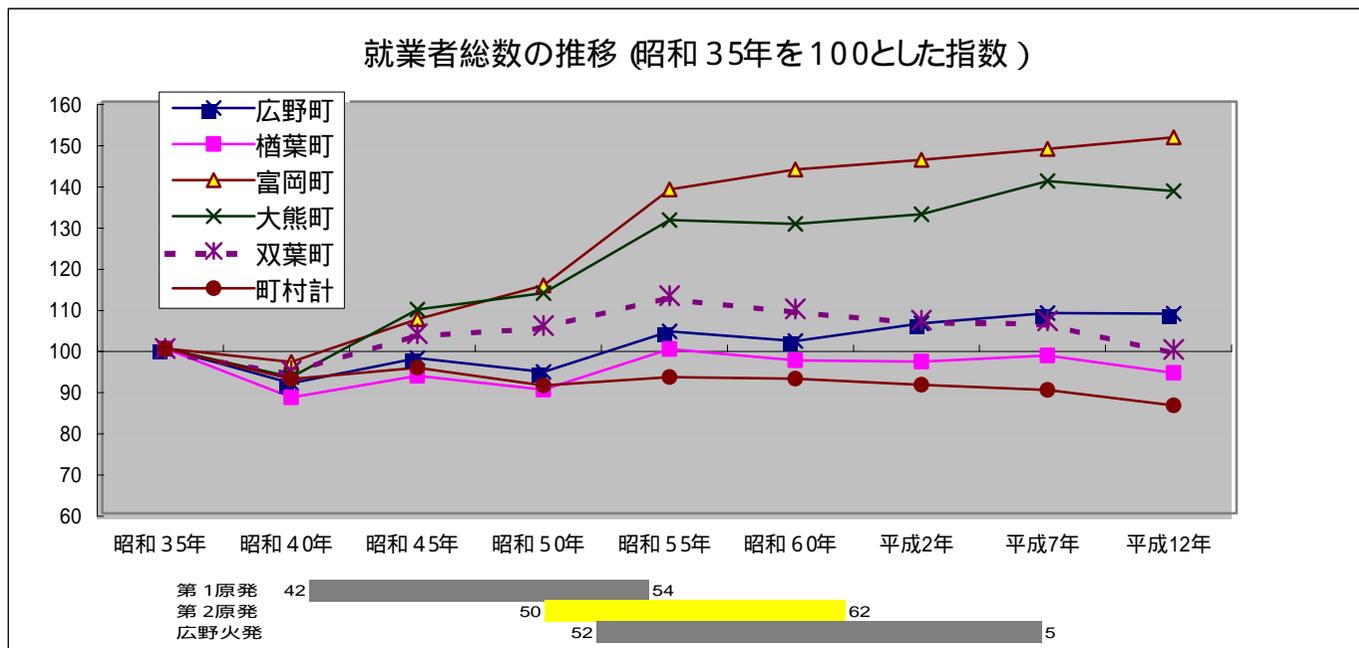


	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
広野町	100	98	99	99	111	105	107	110	111
榎葉町	100	94	95	94	102	100	96	96	93
富岡町	100	100	104	117	140	145	143	145	145
大熊町	100	101	113	124	139	142	144	149	151
双葉町	100	95	105	110	117	118	114	108	105
町村計	100	98	97	96	96	94	92	89	86

生産年齢(15～64歳)人口は、町村計では一貫して減少傾向にあり、都市部への人口流入が生じたものと考えられる。このような中、立地5町のうち富岡町、大熊町は発電所建設が開始されて以降、急激な増加傾向を示している。

【作成:福島県エネルギー政策検討会】
【出所:国勢調査】

1 人口・産業

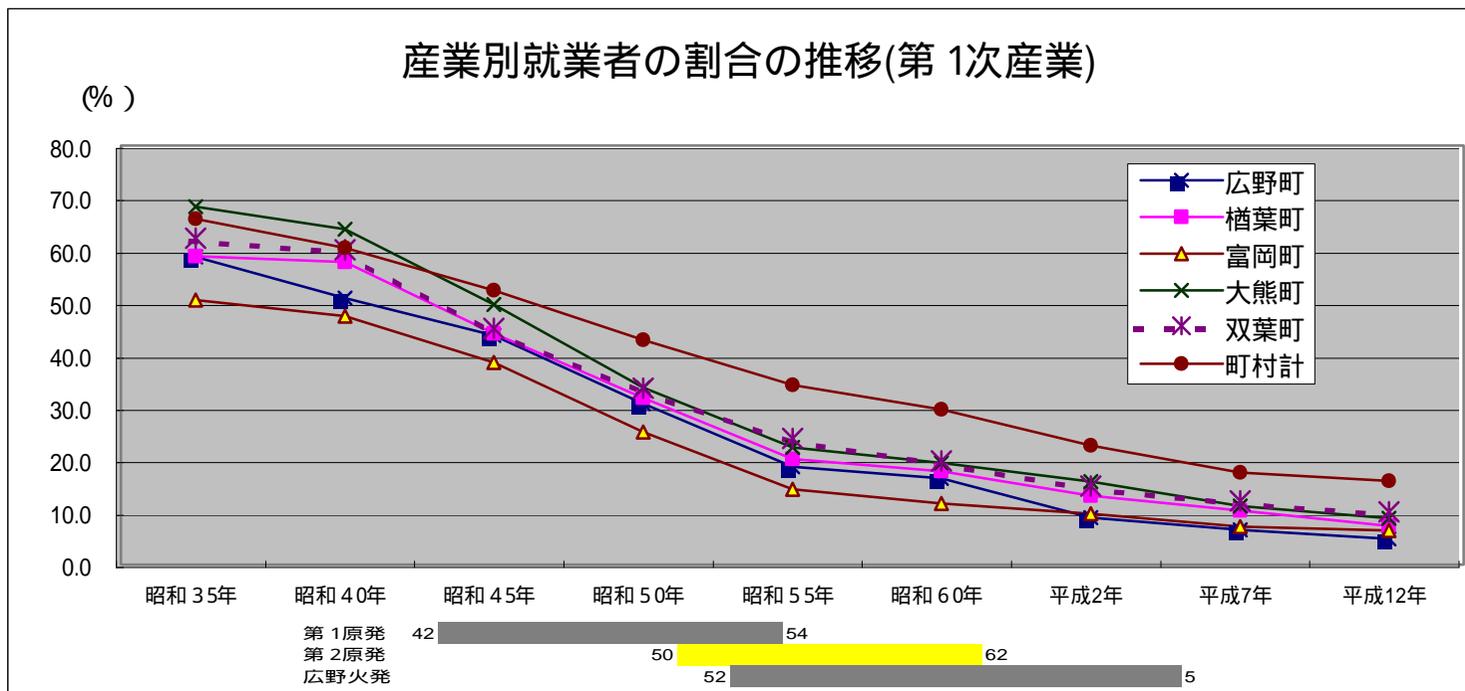


	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
広野町	100	92	98	94	104	102	106	109	108
楢葉町	100	88	93	90	100	97	97	98	94
富岡町	100	97	107	115	139	144	146	149	151
大熊町	100	93	109	114	131	130	133	141	138
双葉町	100	95	104	106	113	110	107	107	100
町村計	100	93	95	91	93	93	91	90	86

就業者総数の伸びは、県内町村値が減少傾向にある中で、富岡町、大熊町は、昭和40年に一時的に人口流出が見られたものの、昭和45年以降持ち直し、高い伸びを示している。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 国勢調査】

1 人口・産業

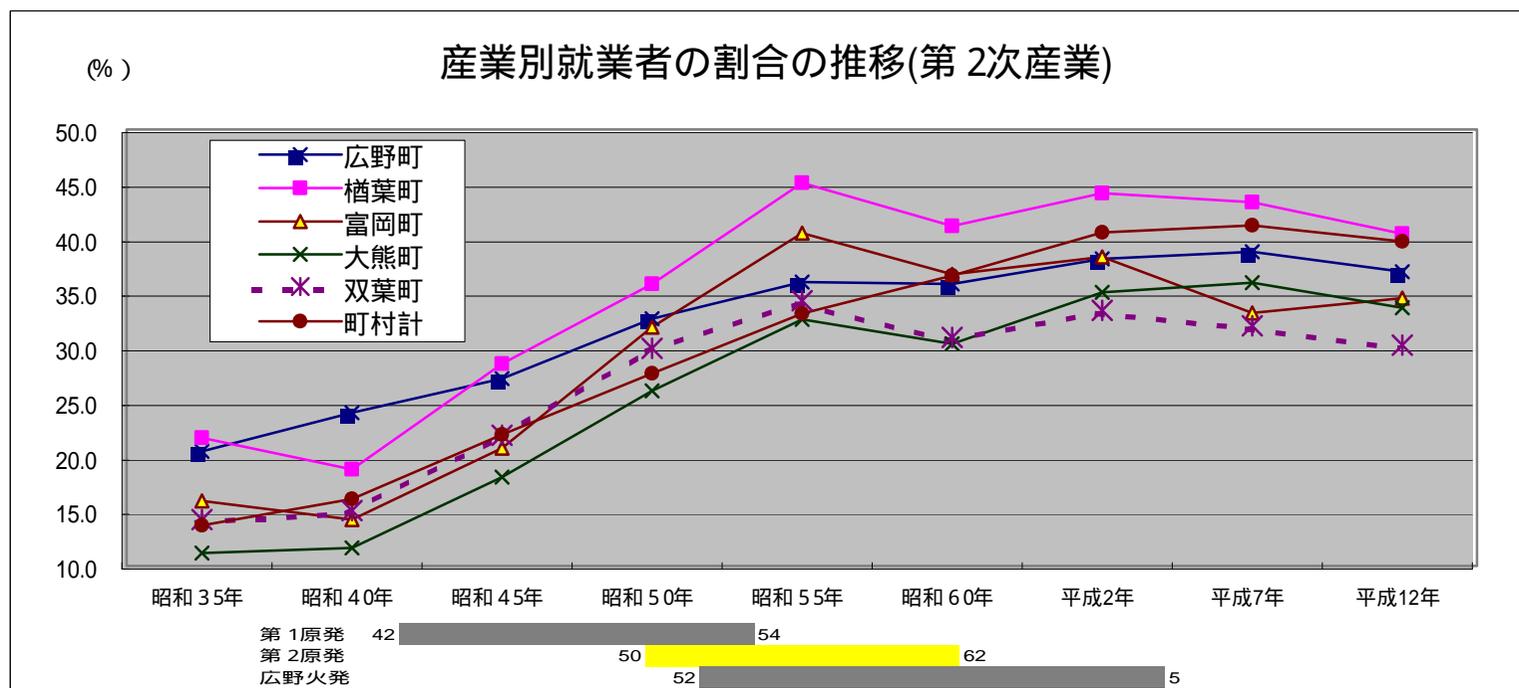


	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
広野町	58.7	50.9	43.8	30.7	18.7	16.4	8.9	6.6	4.9
檜葉町	58.9	57.7	44.1	31.8	20.2	17.8	13.2	10.3	7.4
富岡町	50.5	47.4	38.6	25.3	14.4	11.7	9.7	7.3	6.5
大熊町	68.4	64.0	49.7	33.8	22.3	19.4	15.8	11.2	8.8
双葉町	62.3	60.1	45.1	33.7	24.0	19.8	15.0	12.1	10.0
町村計	66.0	60.5	52.4	42.9	34.3	29.6	22.7	17.6	16.0

第1次産業就業者の減少は全県的にみられる傾向ではあるが、立地5町では他地域よりも急激な減少傾向を示している。

【作成:福島県エネルギー政策検討会】
【出所:国勢調査】

1 人口・産業

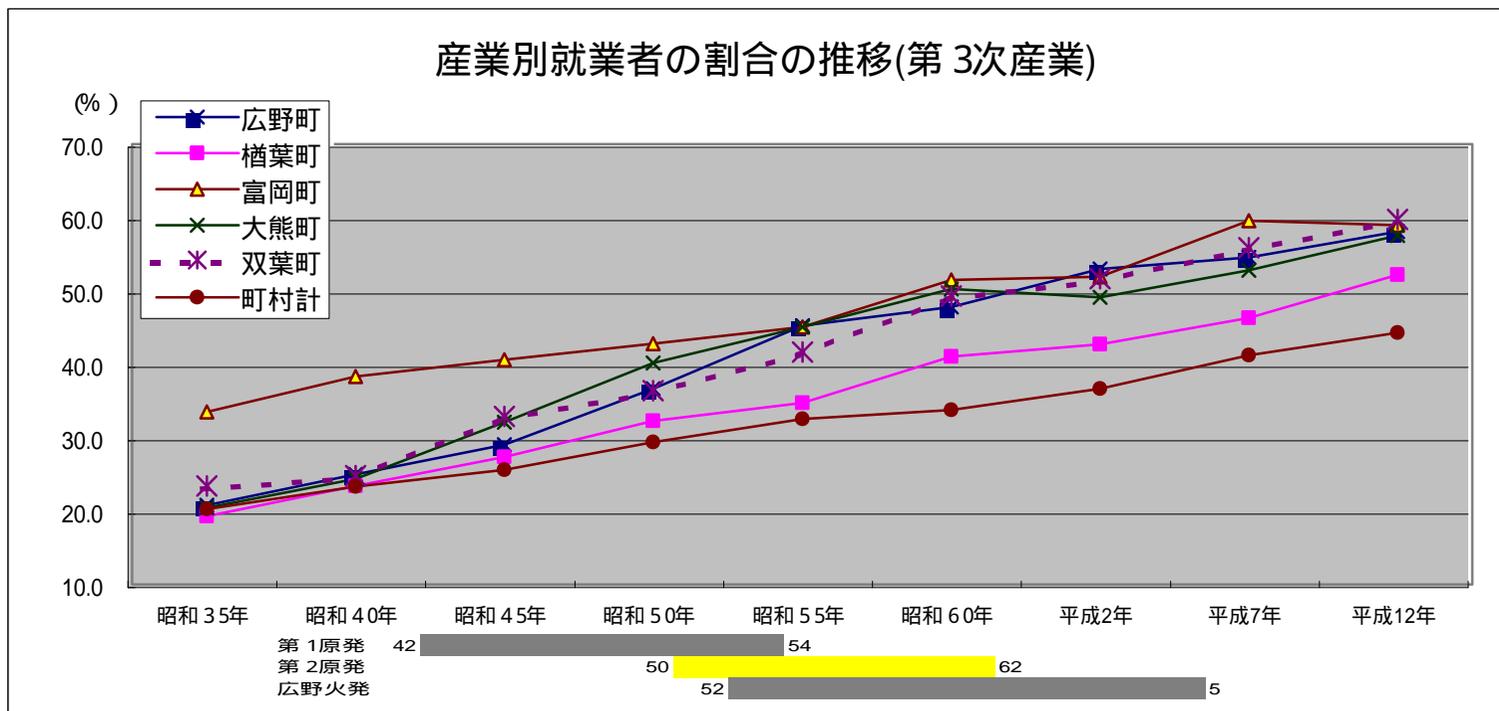


	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
広野町	20.5	24.1	27.2	32.6	36.0	35.8	38.1	38.8	37.0
榎葉町	21.7	18.8	28.5	35.9	45.1	41.1	44.1	43.3	40.4
富岡町	16.0	14.3	20.8	31.9	40.5	36.7	38.3	33.2	34.6
大熊町	11.2	11.7	18.2	26.1	32.6	30.4	35.1	36.0	33.6
双葉町	14.3	15.1	22.0	29.9	34.3	30.9	33.4	32.0	30.3
町村計	13.7	16.1	22.0	27.7	33.1	36.6	40.6	41.2	39.7

第2次産業については、全県的に増加傾向にあるが、立地5町は昭和55年を境にほぼ横這い状態に入っている。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 国勢調査】

1 人口・産業

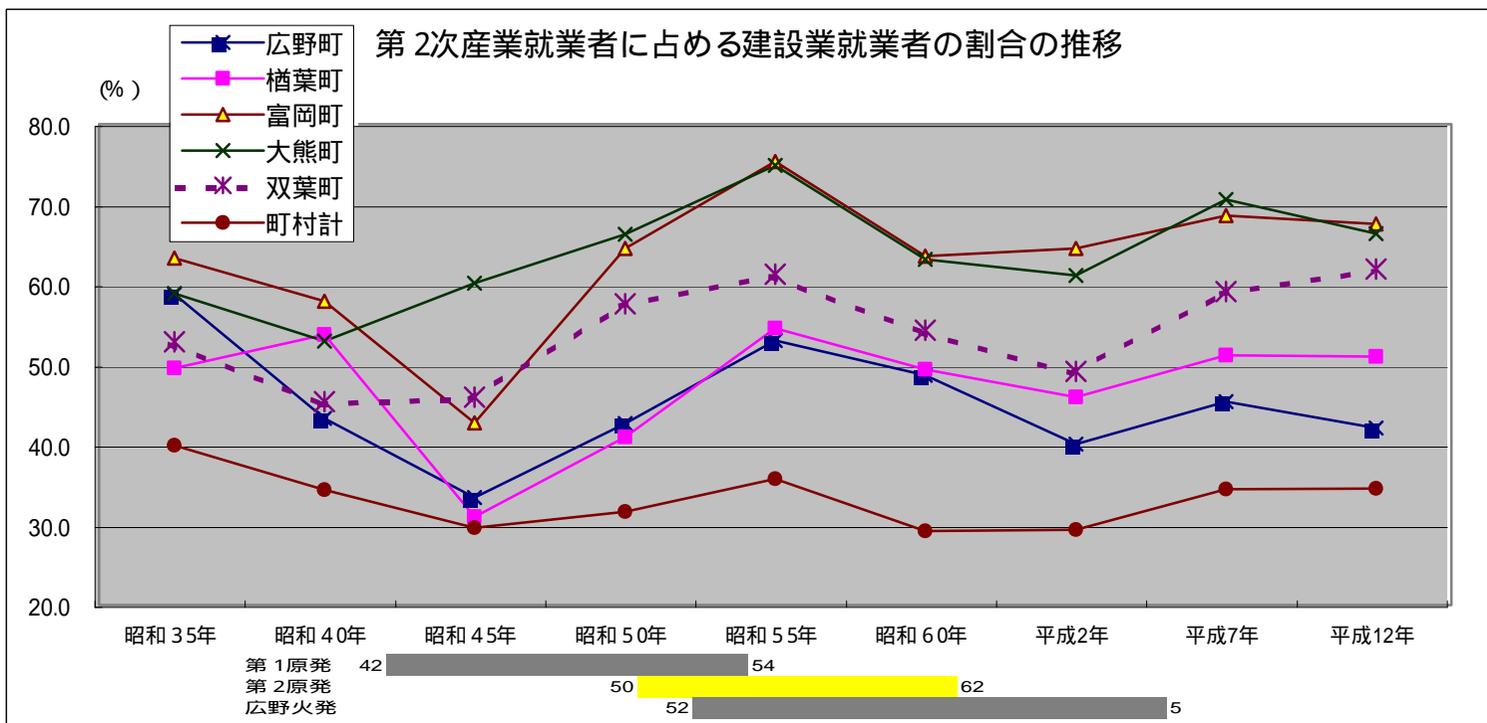


	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
広野町	20.8	25.0	29.0	36.7	45.3	47.8	53.0	54.6	58.1
榎葉町	19.3	23.4	27.4	32.3	34.8	41.1	42.7	46.4	52.2
富岡町	33.5	38.4	40.6	42.8	45.1	51.5	52.0	59.6	59.0
大熊町	20.5	24.3	32.1	40.2	45.1	50.3	49.1	52.8	57.5
双葉町	23.4	24.9	32.9	36.4	41.7	49.3	51.6	55.9	59.7
町村計	20.3	23.4	25.6	29.4	32.6	33.8	36.7	41.2	44.3

第3次産業については、全県的に増加傾向にあるが、立地5町は県内町村値よりも顕著な伸びを示している。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 国勢調査】

1 人口・産業

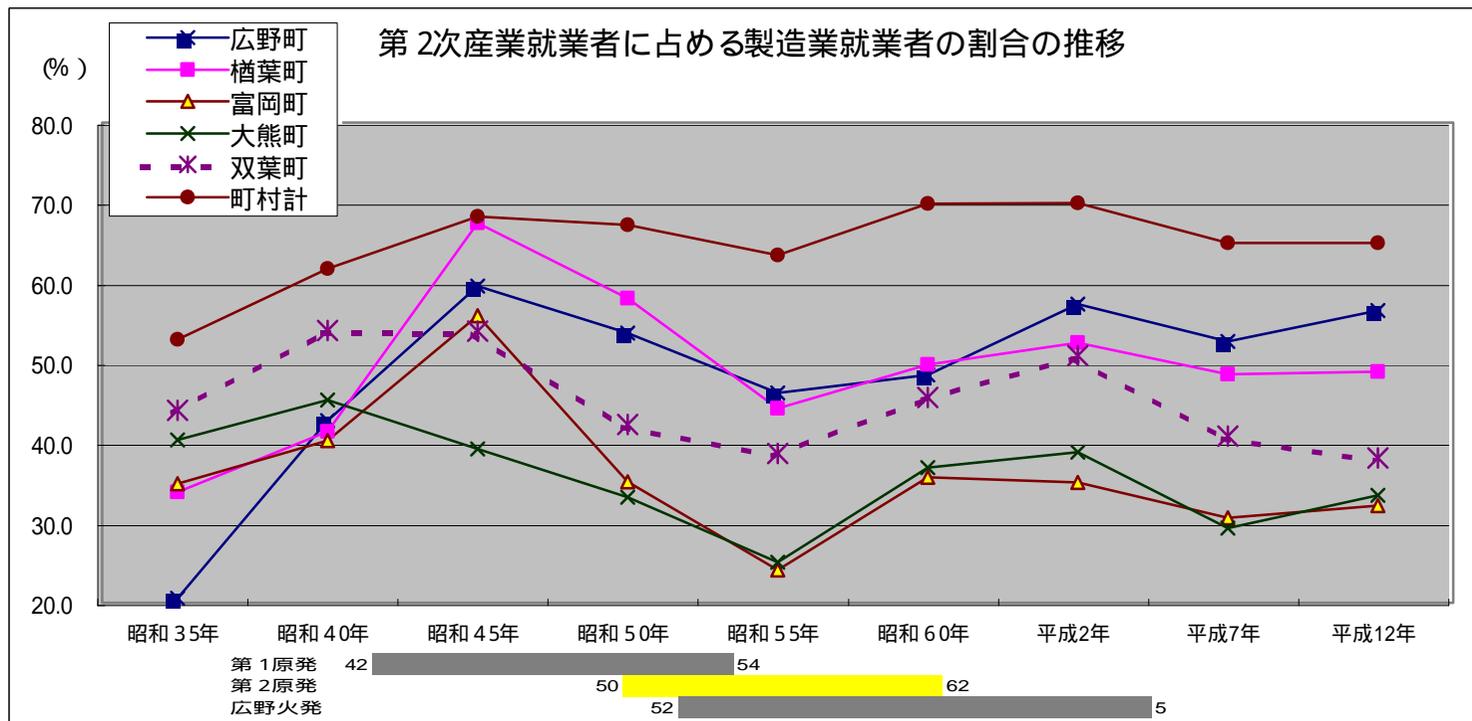


	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
広野町	58.8	43.3	33.4	42.7	53.0	48.7	40.1	45.4	42.1
榎葉町	49.6	53.7	31.0	41.0	54.6	49.4	45.9	51.2	51.0
富岡町	63.3	58.0	42.7	64.5	75.4	63.5	64.5	68.6	67.6
大熊町	58.9	53.0	60.1	66.3	74.8	63.1	61.2	70.6	66.4
双葉町	52.9	45.4	45.9	57.6	61.3	54.3	49.1	59.1	61.9
町村計	39.9	34.4	29.6	31.6	35.7	29.2	29.4	34.4	34.5

第2次産業就業者に占める建設業就業者の割合については、全県的に比較的安定した動きを示しているが、立地5町は発電所が立地する以前から建設業就業者の割合が高く、その後発電所建設期間にはピークを迎え、現在も県内町村値に比べ高い割合となっている。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 国勢調査】

1 人口・産業

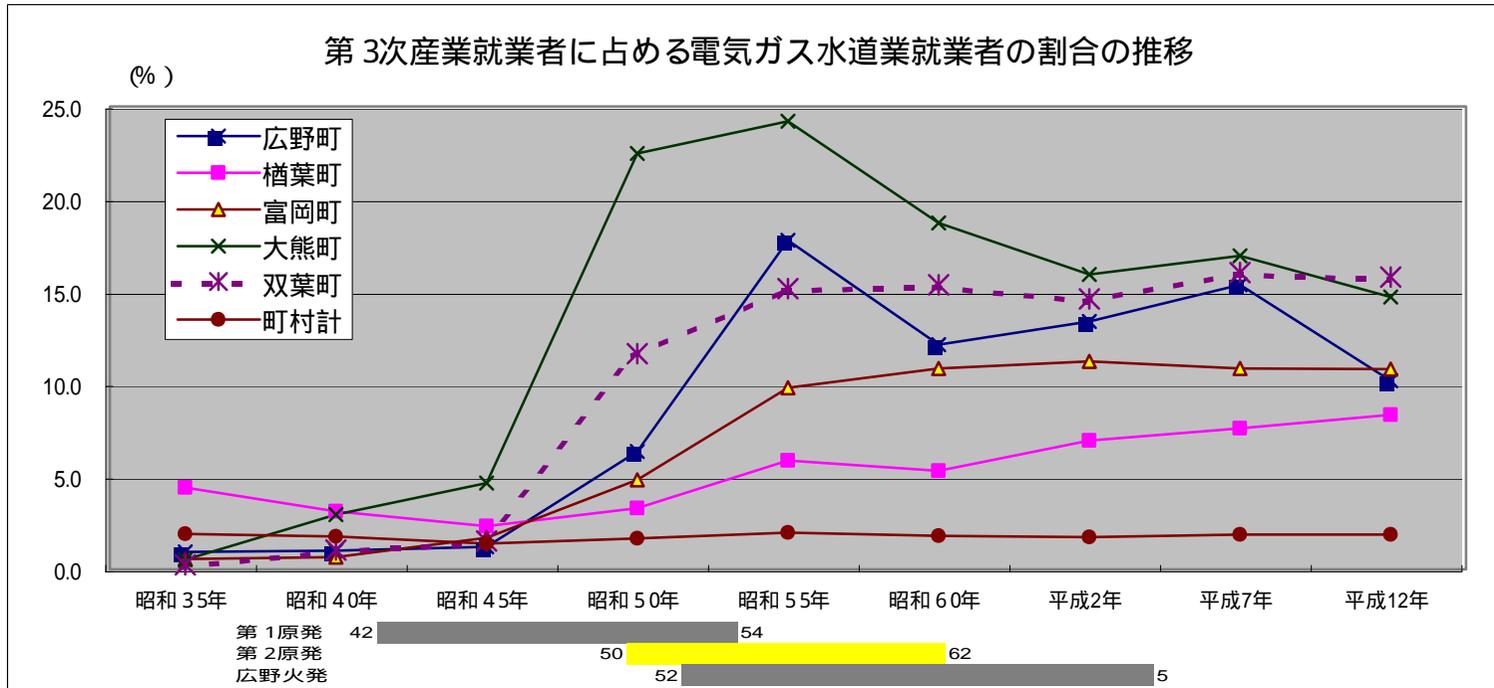


	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
広野町	20.5	42.7	59.6	53.7	46.2	48.5	57.3	52.7	56.5
檜葉町	33.8	41.4	67.4	58.0	44.3	49.7	52.5	48.6	48.9
富岡町	34.9	40.3	55.9	35.1	24.1	35.6	35.0	30.6	32.1
大熊町	40.4	45.3	39.2	33.2	25.1	36.9	38.8	29.3	33.4
双葉町	44.1	54.0	54.0	42.3	38.6	45.7	50.9	40.8	38.1
町村計	52.9	61.7	68.2	67.2	63.4	69.9	70.0	65.0	65.0

第2次産業就業者に占める製造業就業者の割合については、全県的に比較的安定した動きを示しているが、立地5町は、県内町村値に比べ低い割合を示している。

【作成：福島県エネルギー政策検討会】
【出所：国勢調査】

1 人口・産業

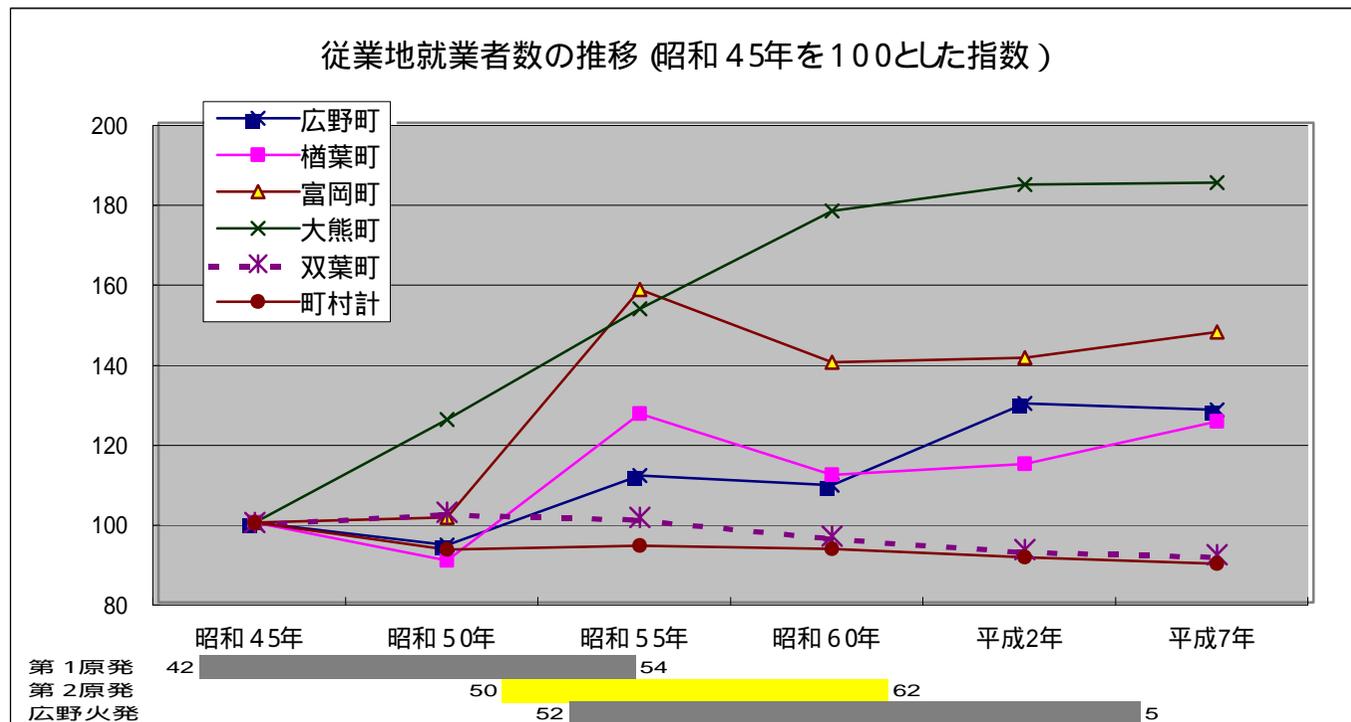


	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
広野町	0.9	1.0	1.2	6.4	17.8	12.1	13.4	15.4	10.2
榎葉町	4.4	3.1	2.3	3.3	5.9	5.3	7.0	7.6	8.3
富岡町	0.6	0.7	1.7	4.8	9.8	10.9	11.2	10.9	10.8
大熊町	0.5	3.0	4.7	22.5	24.2	18.7	15.9	16.9	14.7
双葉町	0.2	1.0	1.5	11.7	15.2	15.4	14.6	16.0	15.8
町村計	1.9	1.8	1.4	1.7	2.0	1.8	1.7	1.9	1.9

第3次産業就業者に占める電気ガス水道業就業者の割合については、全県的に安定した状態をみせているが、立地5町は発電所関連産業の雇用により高い伸びを示し、現在においても電気ガス水道業就業者の割合は大きくなっている。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
 【出所 国勢調査】

1 人口・産業



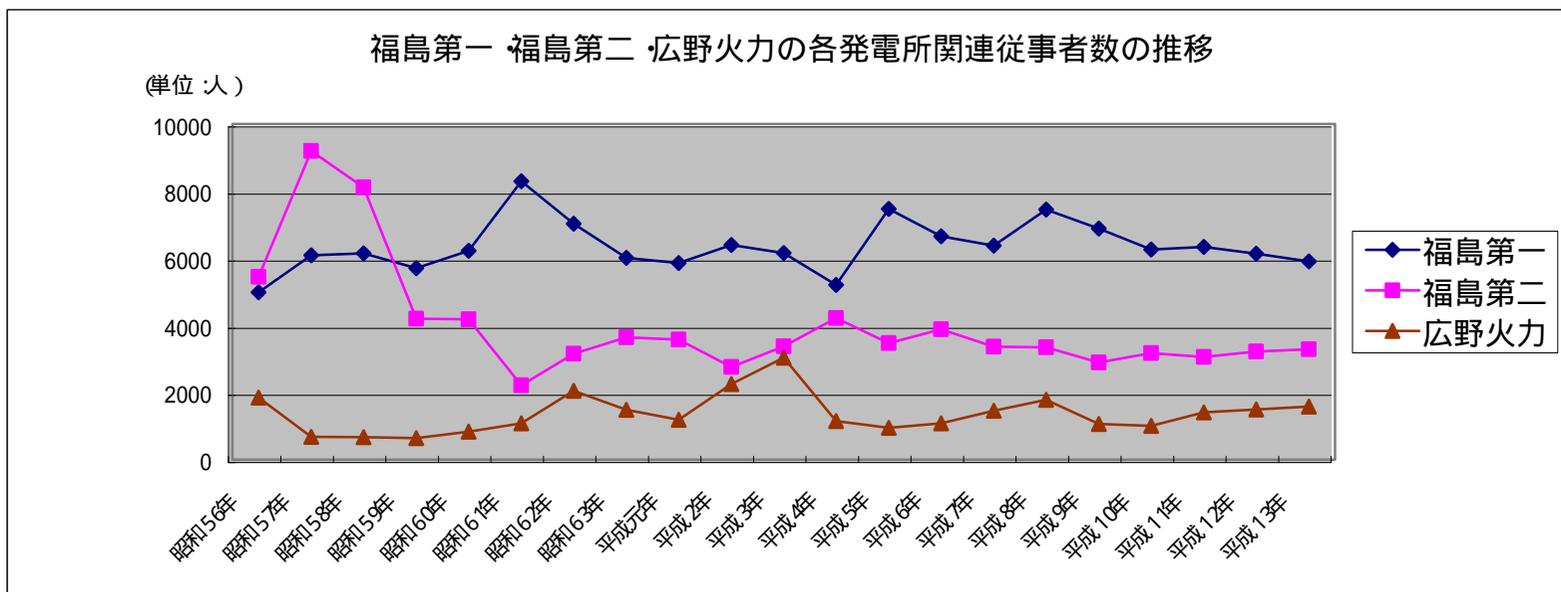
	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年
広野町	100	94	112	109	130	128
榎葉町	100	90	127	112	115	125
富岡町	100	101	158	140	141	148
大熊町	100	126	153	178	185	185
双葉町	100	103	101	97	93	92
町村計	100	93	94	93	91	90

従業地就業者は、当該地域において従業している者を言い、当該地域にどれだけの職場があるかを表している。双葉町を除いた4町は、発電所の立地を契機として従業地就業者数の伸びが顕著である。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】

【出所 国勢調査】

1 人口・産業



第二原発 50
 広野火力 52

62
 5

調査基準日 :各年 12月 1日

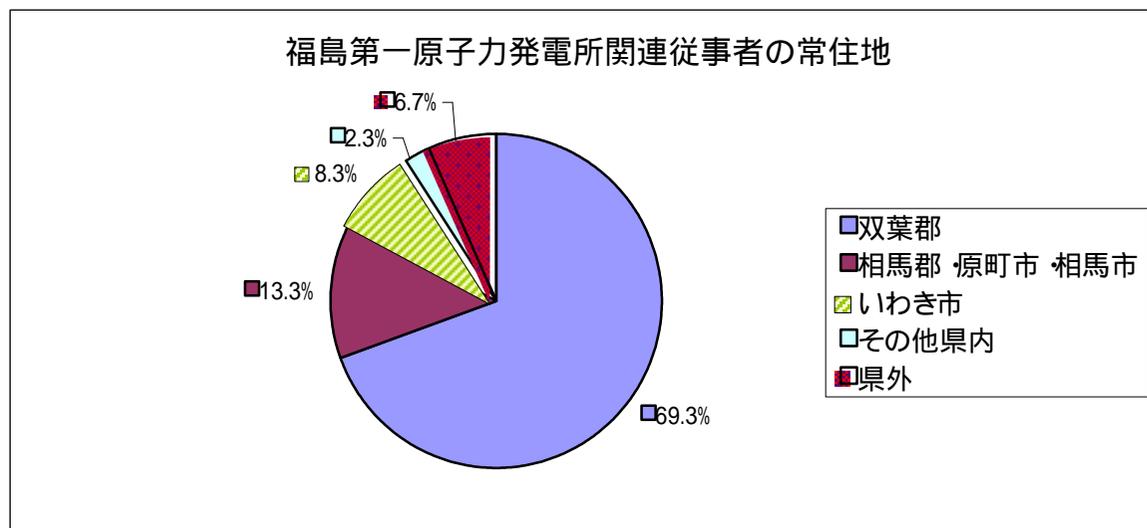
	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年
福島第一	4985	6085	6142	5703	6221	8292	7024	6016	5856	6395	6151	5207	7473	6654	6373	7448	6882	6256	6342	6140	5909
福島第二	5447	9192	8111	4198	4177	2212	3154	3640	3578	2761	3373	4222	3470	3886	3361	3345	2898	3175	3060	3226	3293
広野火力	1848	679	667	642	833	1084	2053	1484	1193	2252	3040	1148	949	1079	1455	1783	1065	1007	1409	1496	1578
合計	12280	15956	14920	10543	11231	11588	12231	11140	10627	11408	12564	10577	11892	11619	11189	12576	10845	10438	10811	10862	10780

福島第一、第二、広野の各発電所合計で、毎年1万人以上の雇用創出がある。

(注)本表による従事者とは、東京電力(株)の社員並びに発電所で働いている関連企業及び協力企業の社員を言う。(以下、14ページ~16ページまで同じ)

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
 【出所 東京電力(株)資料】

1 人口・産業



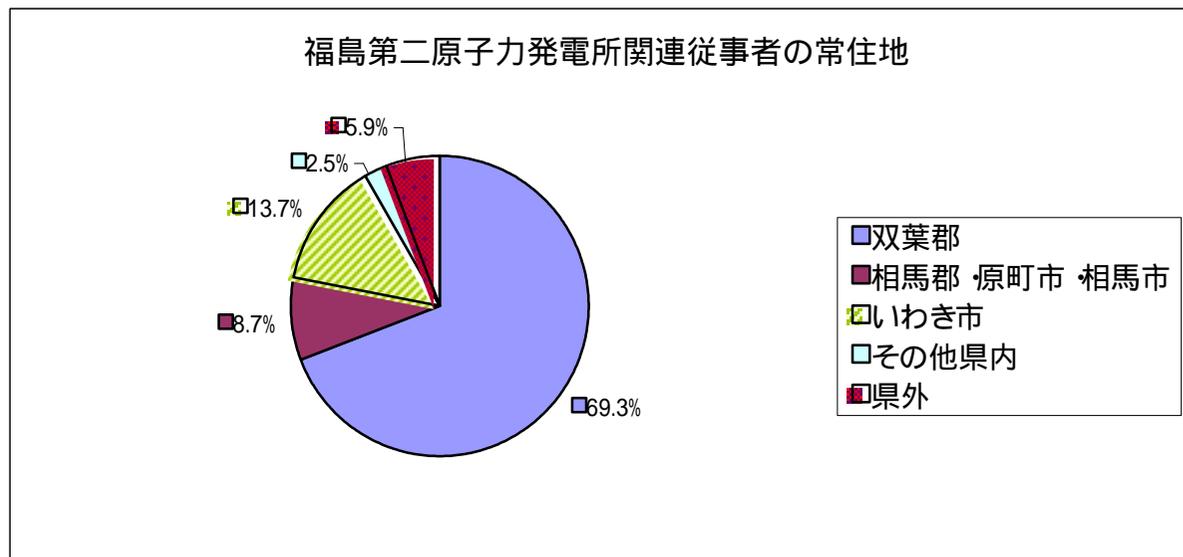
平成 13年 12月 1日現在

	双葉郡	相馬郡・原町市・相馬市	いわき市	その他県内	県外	合計
福島第一 (人)	4097	787	489	138	398	5909
福島第一 (%)	69.3	13.3	8.3	2.3	6.7	100

双葉郡に常住する者が4,097人(69.3%)、次いで相馬郡、原町市、相馬市の787人(13.3%)などとなっている。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
 【出所 東京電力(株)資料】

1 人口・産業



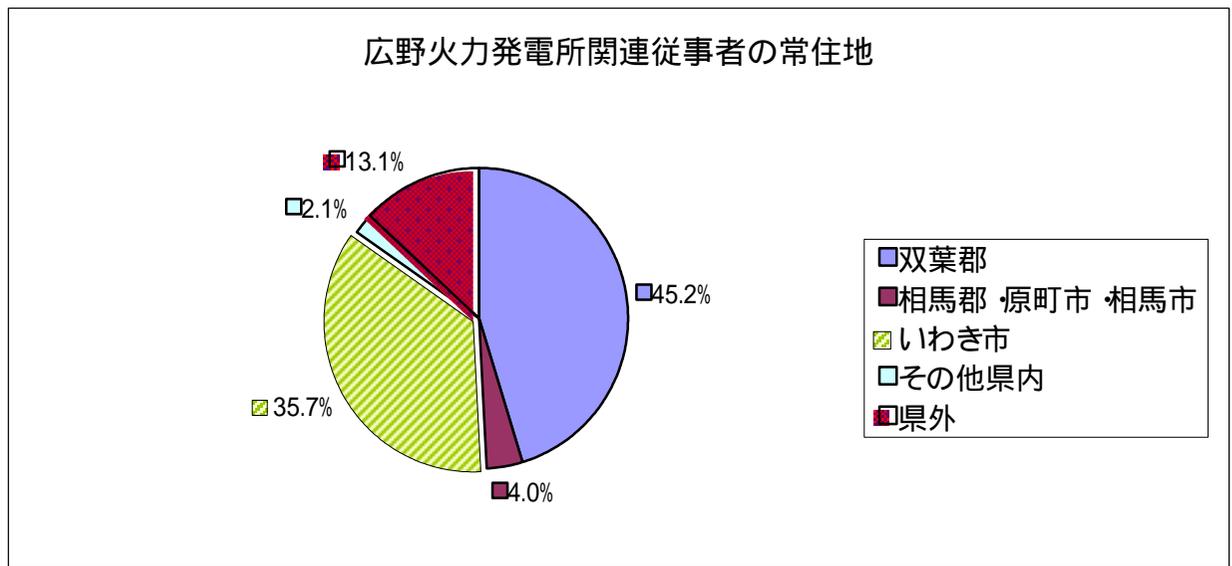
平成13年12月1日現在

	双葉郡	相馬郡・原町市・相馬市	いわき市	その他県内	県外	合計
福島第二(人)	2281	285	452	82	193	3293
福島第二(%)	69.3	8.7	13.7	2.5	5.9	100.0

双葉郡に常住する者が2,281人(69.3%)、次いでいわき市の452人(13.7%)などとなっている。

【作成:福島県エネルギー政策検討会】
 【出所:東京電力(株)資料】

1 人口・産業



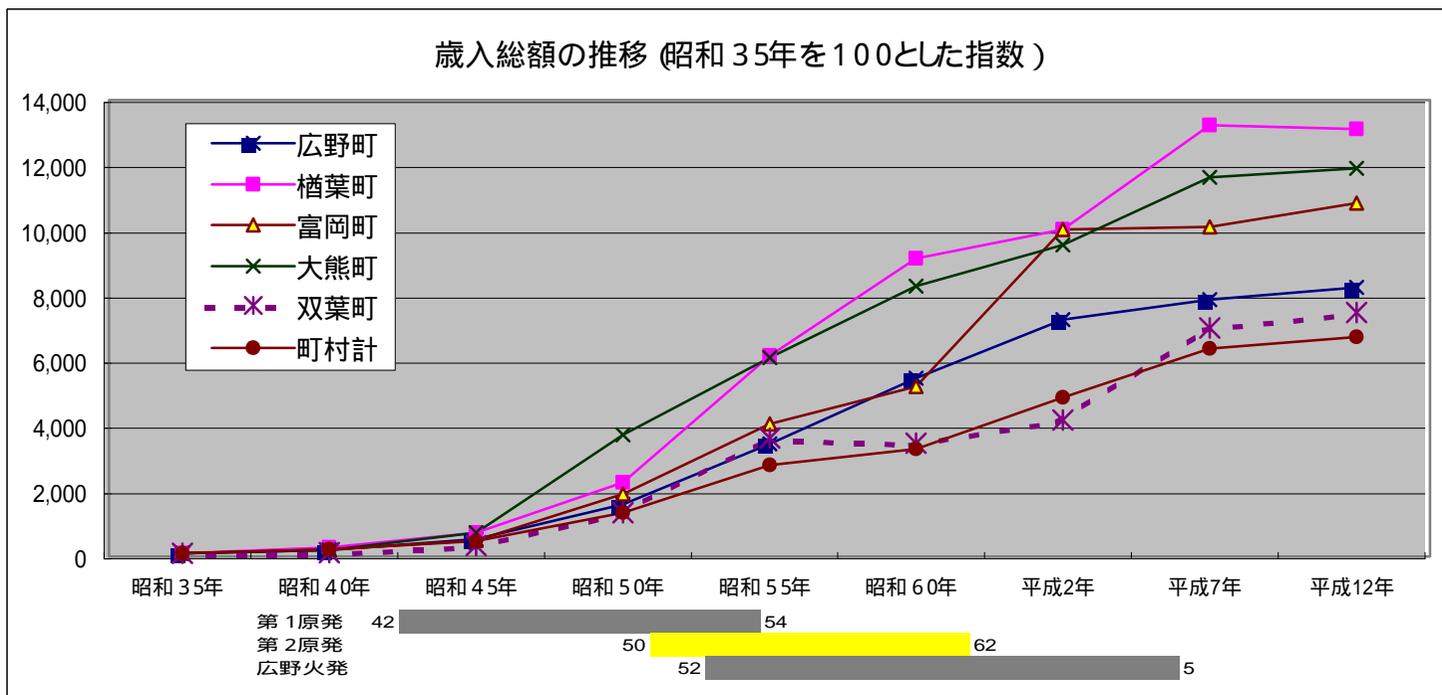
平成13年12月1日現在

	双葉郡	相馬郡・原町市・相馬市	いわき市	その他県内	県外	合計
広野火力(人)	713	63	563	33	206	1578
広野火力(%)	45.2	4.0	35.7	2.1	13.1	100.0

双葉郡に常住する者が713人(45.2%)、次いでいわき市の563人(35.7%)などとなっている。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
 【出所 東京電力(株)資料】

2 財政

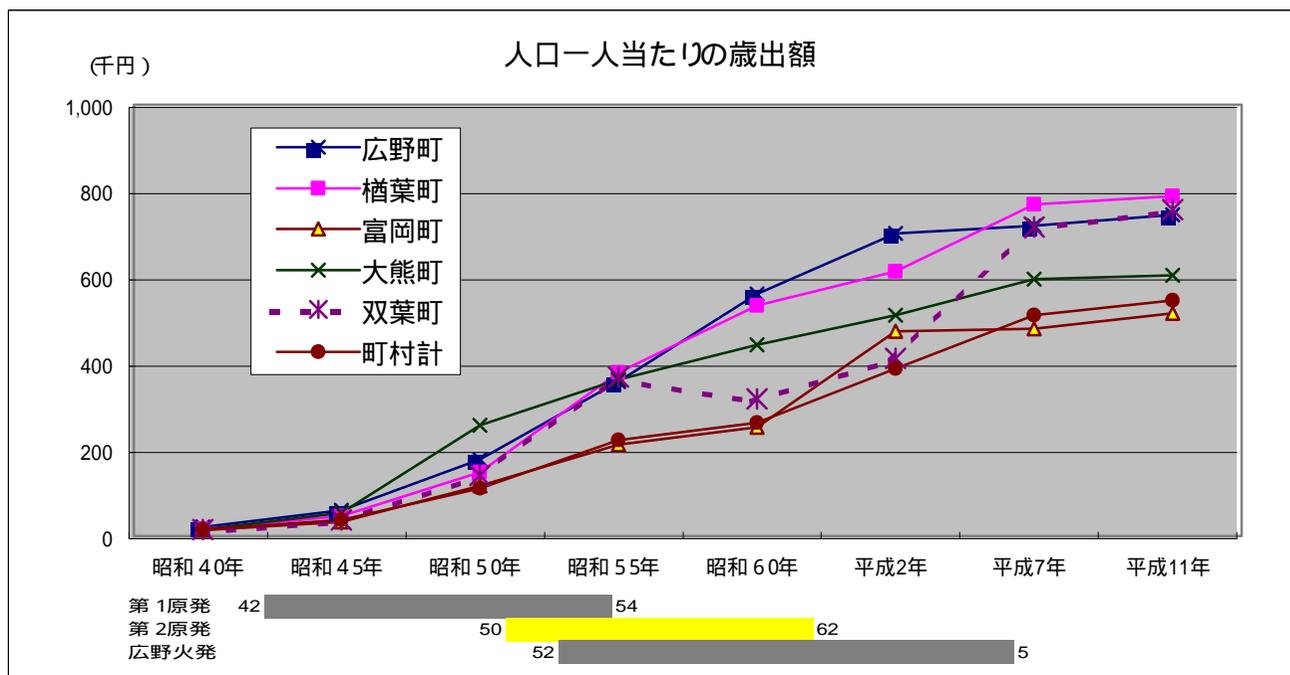


	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
広野町	100	205	541	1,605	3,463	5,461	7,266	7,879	8,263
榑葉町	100	270	725	2,272	6,168	9,134	10,028	13,228	13,111
富岡町	100	215	503	1,917	4,071	5,213	10,031	10,117	10,841
大熊町	100	196	735	3,740	6,093	8,291	9,554	11,626	11,902
双葉町	100	124	344	1,335	3,639	3,480	4,188	7,018	7,475
町村計	100	222	479	1,350	2,803	3,299	4,885	6,374	6,724

全体的に規模が増大している中で、立地5町は発電所の立地以降、急激な規模の増大を示した後、現在も増加傾向にある。とりわけ榑葉町、富岡町、大熊町が著しい伸びを示している。

【作成：福島県エネルギー政策検討会】
【出所：市町村財政年報】

2 財 政



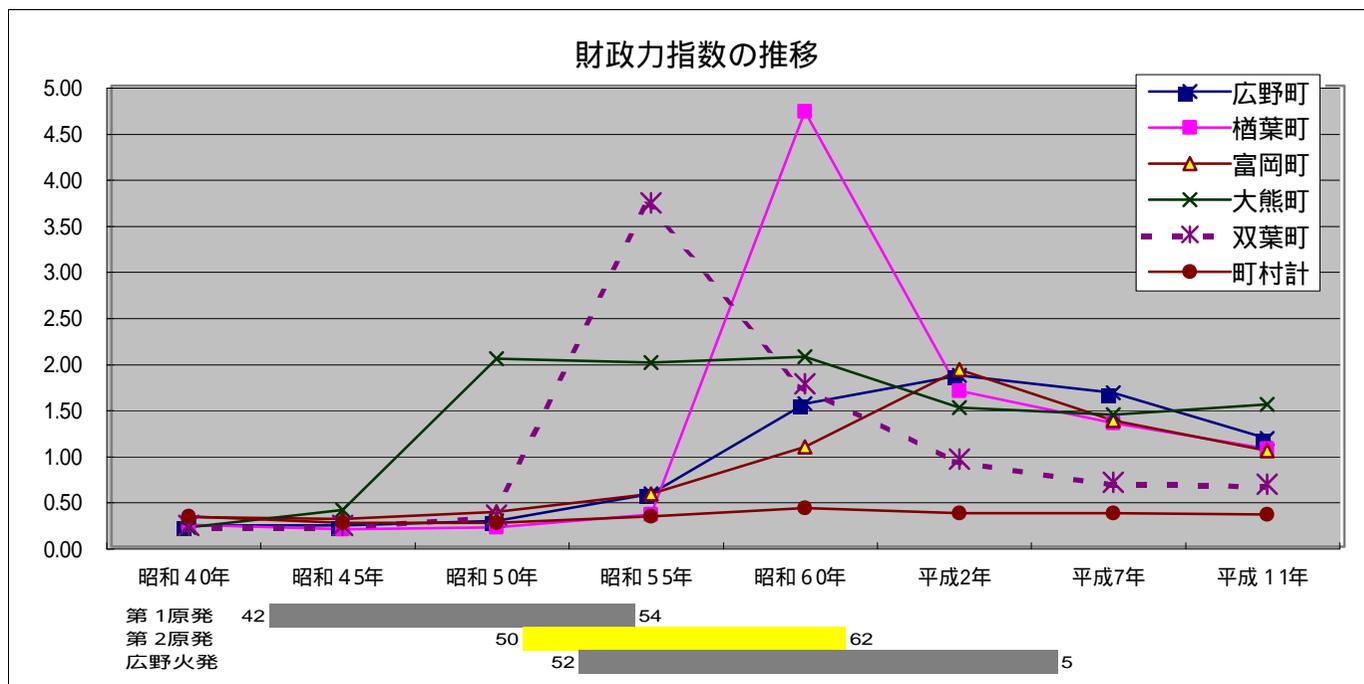
	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成11年
広 野 町	21	59	177	358	561	702	719	745
榎 葉 町	16	46	148	379	534	613	768	788
富 岡 町	14	33	116	212	252	475	480	516
大 熊 町	15	54	257	363	444	512	596	604
双 葉 町	15	37	140	369	318	412	716	756
町 村 計	15	38	111	223	262	388	512	547

全県的に規模が増大している中で、立地5町は発電所の立地以降、急激な規模の増大を示した後、現在も増加傾向にある。とりわけ広野町、榎葉町、双葉町が著しい伸びを示している。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】

【出所 市町村財政年報、国勢調査、福島県の人口】

2 財 政

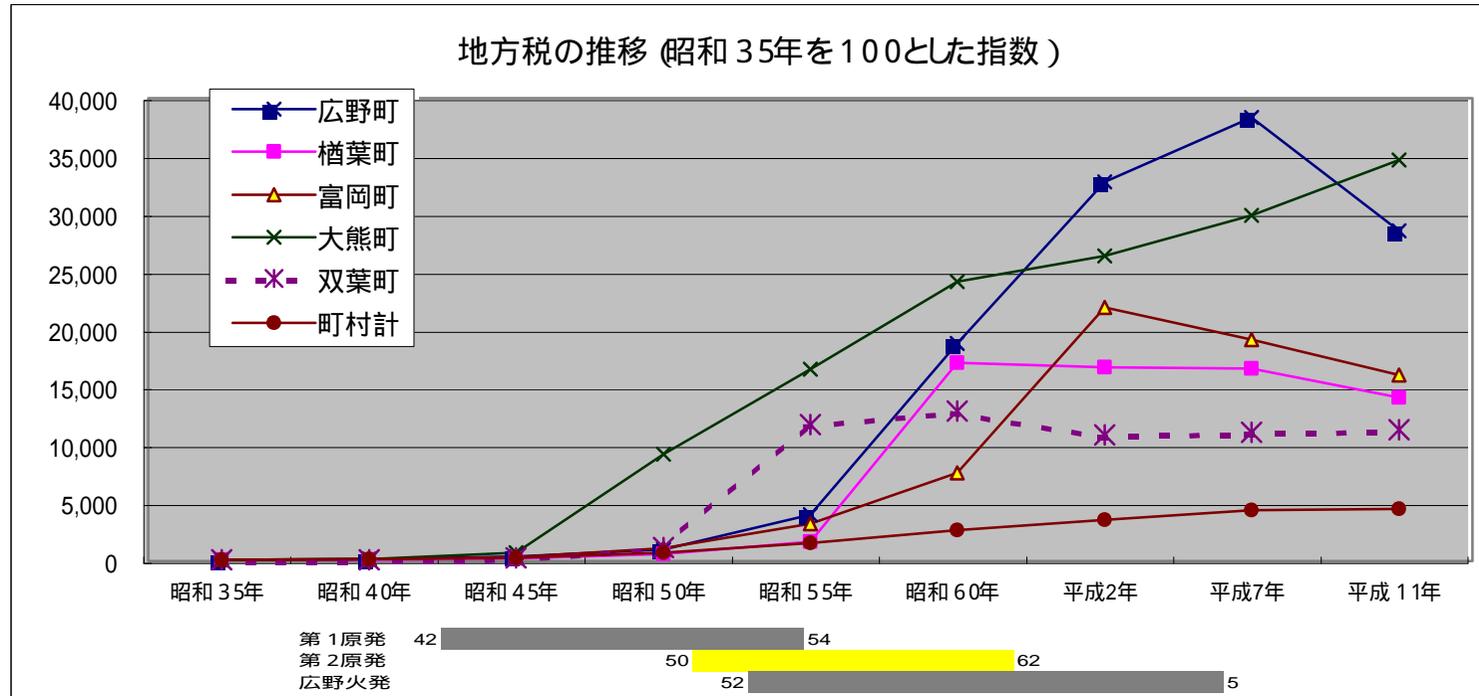


	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成11年
広 野 町	0.23	0.23	0.28	0.57	1.55	1.86	1.67	1.17
楢 葉 町	0.24	0.19	0.21	0.35	4.72	1.69	1.34	1.06
富 岡 町	0.32	0.30	0.38	0.57	1.08	1.92	1.37	1.04
大 熊 町	0.21	0.40	2.04	2.00	2.06	1.51	1.43	1.54
双 葉 町	0.23	0.23	0.34	3.73	1.77	0.95	0.70	0.68
町 村 計	0.33	0.26	0.26	0.33	0.42	0.36	0.36	0.35

全県的に横這い状態が続く中で、立地5町は発電所の立地以降、高い値を示したが、とりわけ楢葉町及び双葉町は急激な指数の変化が見られた。

【作成 :福島県エネルギー政策検討会】
【出所 :市町村財政年報】

2 財 政



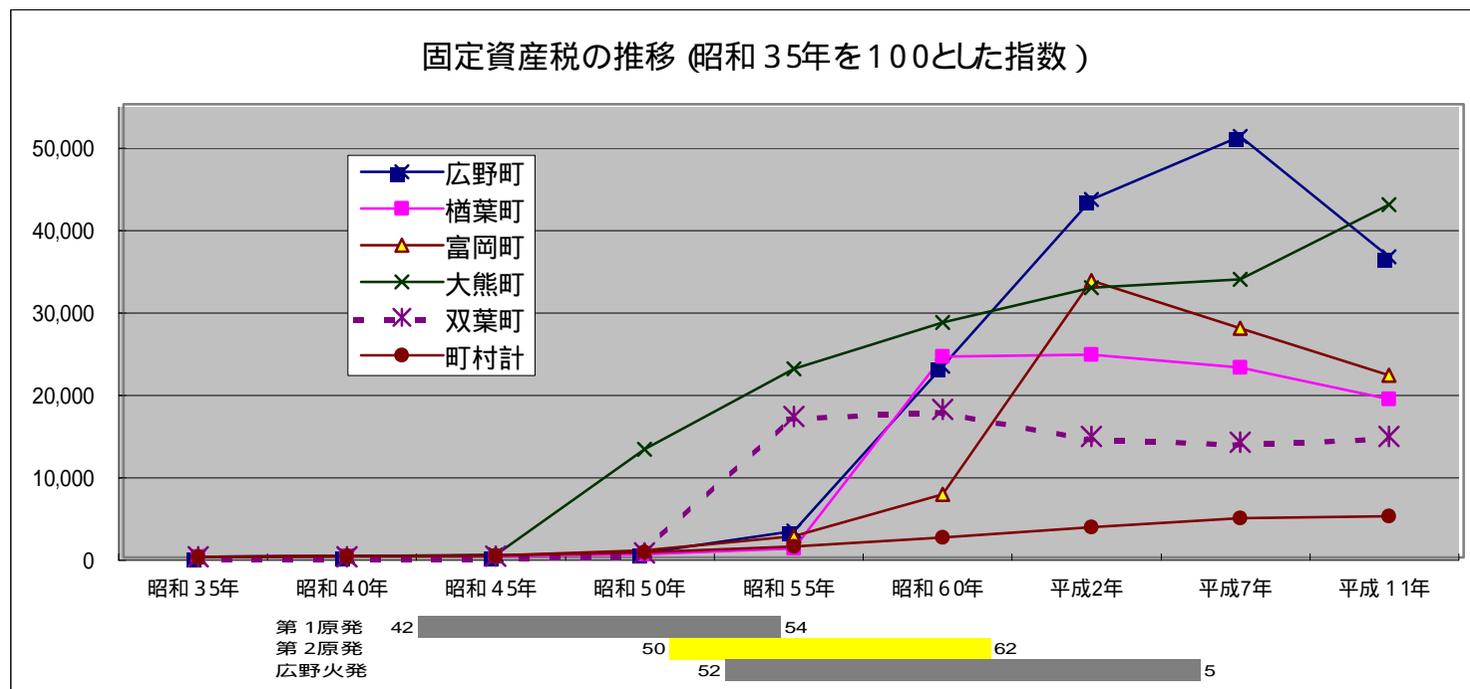
	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成11年
広野町	100	189	367	989	4,011	18,811	32,767	38,356	28,533
檜葉町	100	132	214	595	1,664	17,123	16,732	16,641	14,155
富岡町	100	146	315	1,112	3,219	7,600	21,927	19,158	16,088
大熊町	100	154	700	9,246	16,569	24,146	26,392	29,892	34,685
双葉町	100	124	276	1,147	11,782	12,988	10,912	11,106	11,324
町村計	100	176	299	725	1,567	2,645	3,579	4,403	4,491

全県的に規模が増大している中で、立地5町は発電所の立地以降、県内町村値に比べ高い値を維持している。

【作成：福島県エネルギー政策検討会】

【出所：市町村財政年報】

2 財 政

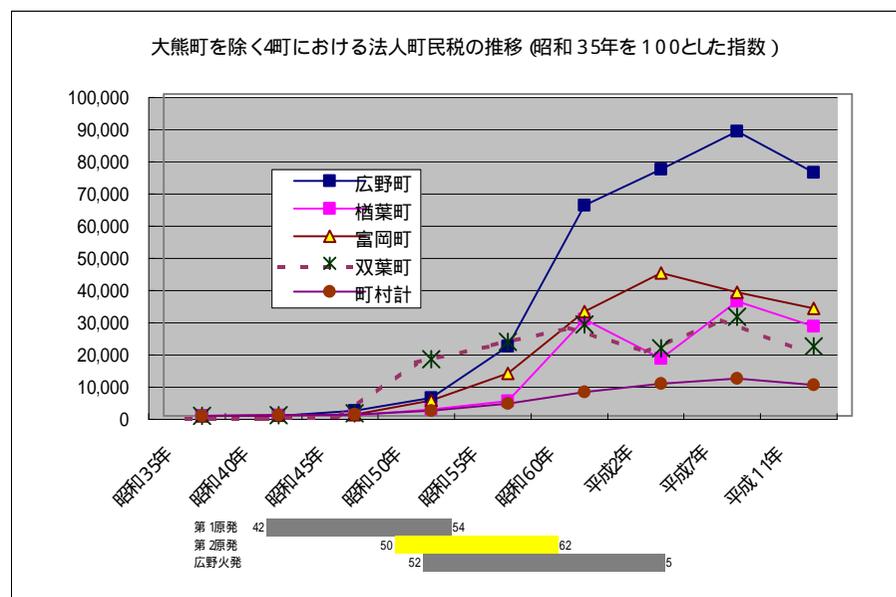
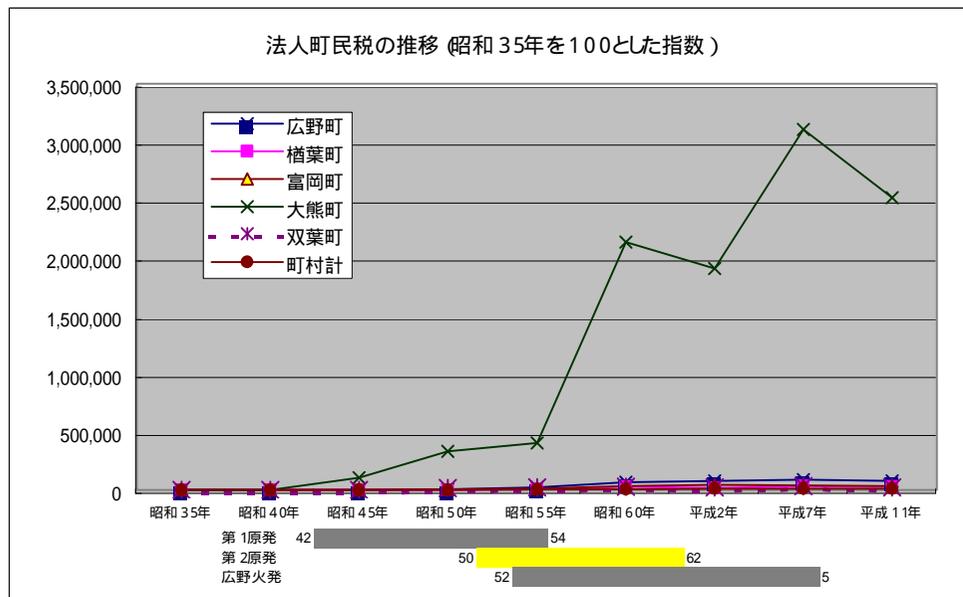


	昭和 35年	昭和 40年	昭和 45年	昭和 50年	昭和 55年	昭和 60年	平成2年	平成7年	平成 11年
広 野 町	100	150	217	583	3,200	23,200	43,417	51,117	36,450
楢 葉 町	100	123	177	423	1,123	24,346	24,585	23,031	19,254
富 岡 町	100	136	243	864	2,586	7,629	33,586	27,821	22,093
大 熊 町	100	125	288	13,088	22,913	28,550	32,763	33,713	42,850
双 葉 町	100	110	170	540	17,090	18,000	14,660	13,980	14,680
町 村 計	100	181	269	597	1,316	2,391	3,634	4,745	5,033

全県的に規模が増大している中で、立地 5町は発電所の立地以降、県内町村値に比べ高い値を維持している。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村財政年報】

2 財政

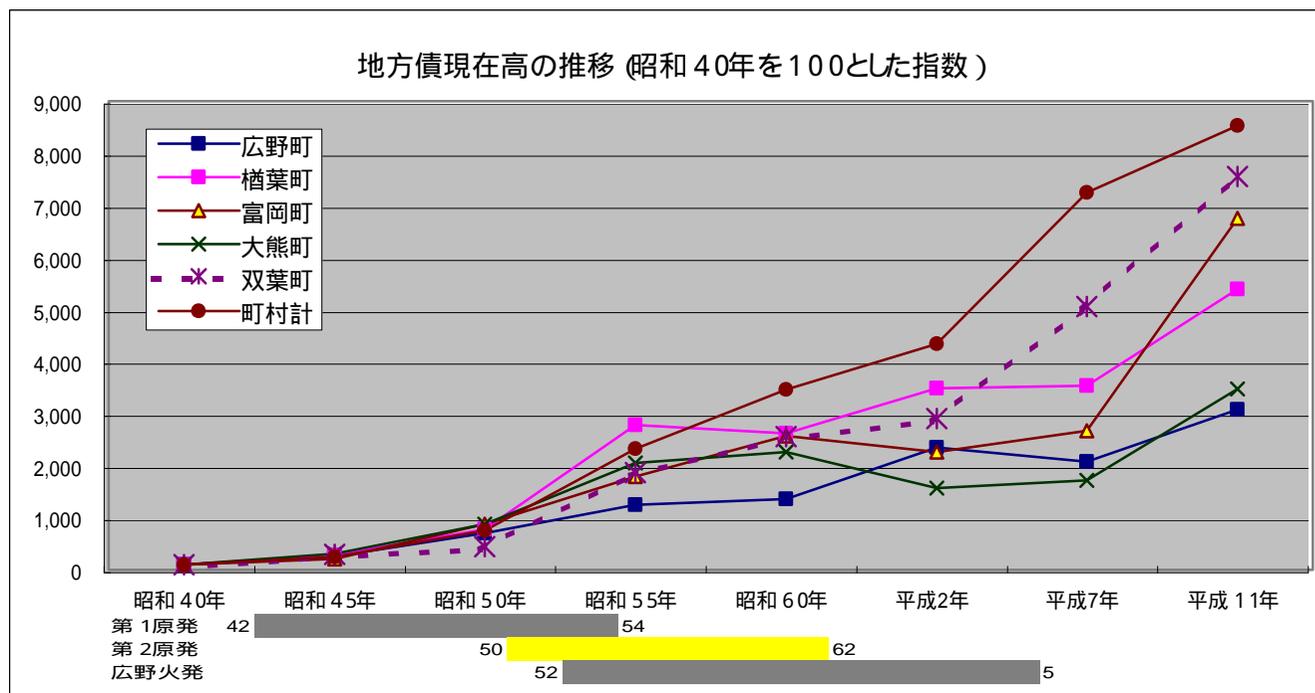


	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成11年
広野町	100	46	1,526	5,691	21,538	65,313	76,623	88,353	75,684
檜葉町	100	126	209	1,952	4,608	30,008	17,785	35,690	27,842
富岡町	100	125	491	4,877	13,151	32,312	44,350	38,377	33,387
大熊町	100	1,159	106,077	333,368	406,591	2,134,677	1,907,459	3,104,614	2,518,641
双葉町	100	189	735	17,538	22,953	28,462	20,917	30,847	21,579
町村計	100	158	495	1,596	3,714	7,437	10,084	11,593	9,603

全県的に規模が増大している中で、立地5町は発電所の立地以降、急激な規模の増大を示したものの、近年は減少傾向にある。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村財政年報】

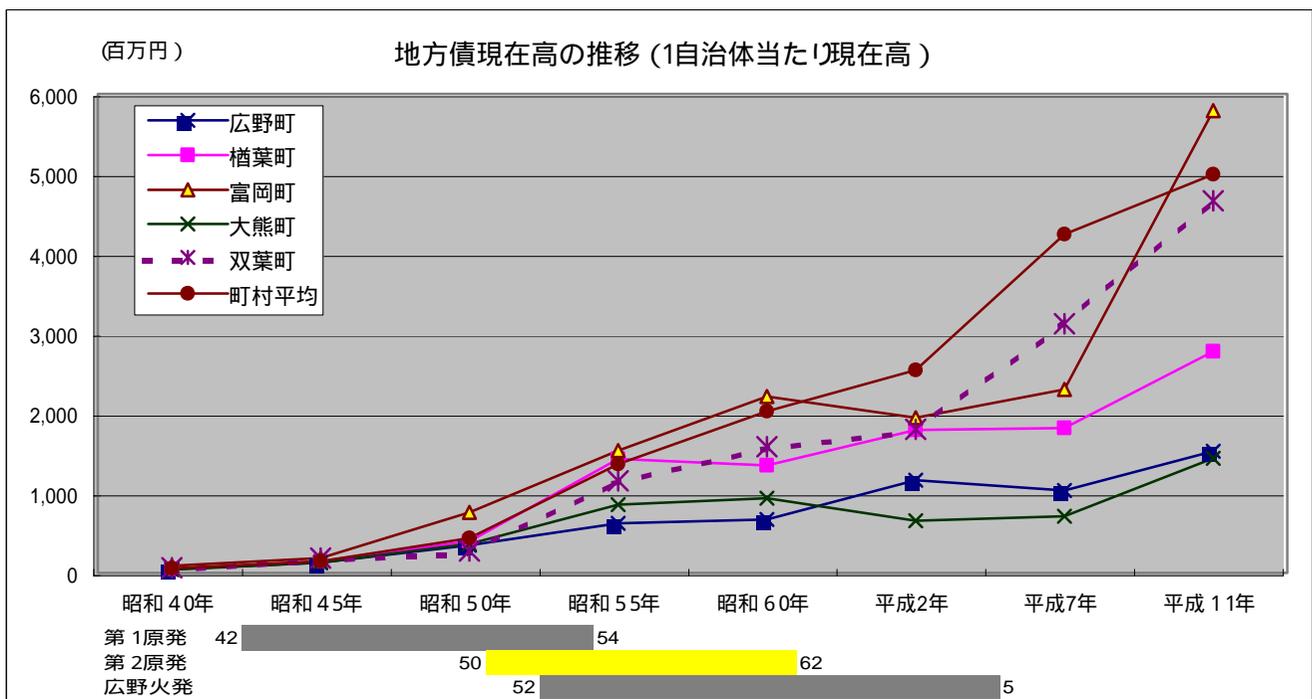
2 財 政



	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成11年
広野町	100	264	703	1,251	1,358	2,347	2,081	3,075
榎葉町	100	281	773	2,783	2,619	3,483	3,534	5,394
富岡町	100	214	881	1,788	2,576	2,267	2,675	6,744
大熊町	100	306	876	2,055	2,261	1,576	1,715	3,470
双葉町	100	301	449	1,870	2,563	2,908	5,055	7,548
町村計	100	246	748	2,325	3,456	4,335	7,244	8,531

全県的に規模が増大している中で、立地5町の伸びは鈍かったが、近年、榎葉町、富岡町、双葉町の伸びが著しい。
【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村財政年報】

2 財 政



単位 :百万円

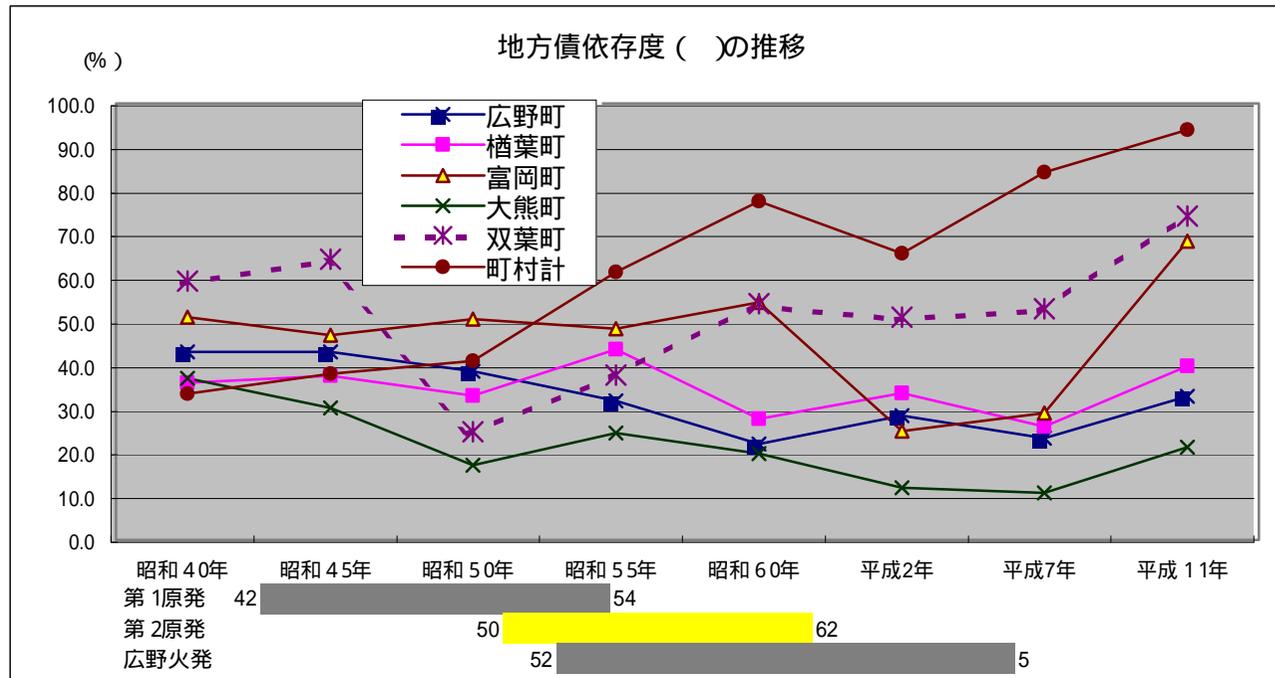
	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成11年
広 野 町	49	131	348	619	672	1,161	1,029	1,521
榎 葉 町	51	144	397	1,430	1,346	1,790	1,815	2,771
富 岡 町	86	184	756	1,534	2,211	1,946	2,295	5,788
大 熊 町	41	127	363	852	937	653	711	1,439
双 葉 町	62	186	277	1,155	1,582	1,795	3,120	4,659
町 村 平 均	59	144	438	1,360	2,022	2,537	4,239	4,992

全県的に規模が増大している中で、立地5町の伸びは鈍かったが、近年、榎葉町、富岡町、双葉町の伸びが著しい。

【作成 :福島県エネルギー政策検討会】

【出所 :市町村財政年報】

2 財政



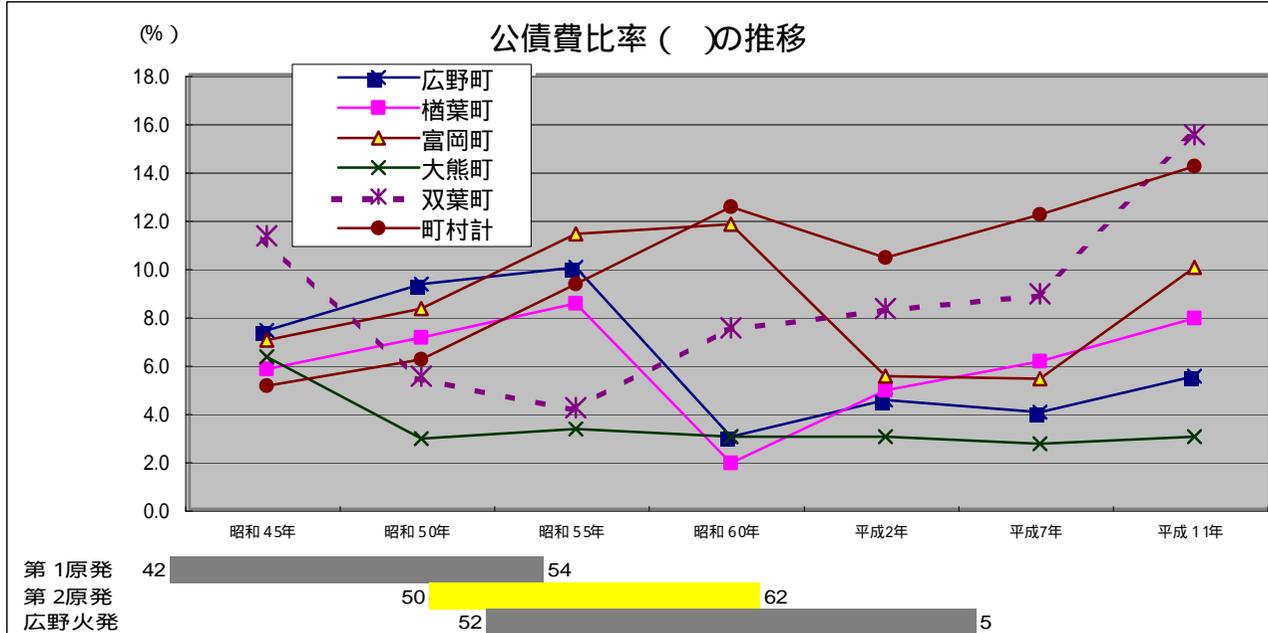
(地方債依存度 = $\frac{\text{地方債現在高}}{\text{歳入総額}}$ (通常、「地方債依存度」とは、 $\frac{\text{地方債発行額}}{\text{歳入総額}}$ のことを示す。)

	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成11年
広野町	43.0	43.1	38.7	31.9	22.0	28.5	23.3	32.9
楢葉町	35.9	37.6	33.0	43.7	27.8	33.7	25.9	39.9
富岡町	51.1	46.9	50.6	48.3	54.4	24.9	29.1	68.4
大熊町	37.0	30.3	17.0	24.5	19.8	12.0	10.7	21.2
双葉町	59.4	64.3	24.7	37.8	54.1	51.0	52.9	74.2
町村計	33.4	38.0	41.0	61.4	77.6	65.7	84.1	93.9

全県的に依存度が高まる中で、立地5町の数値は発電所の立地を契機として低く推移していたが、近年、高まる傾向にある。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村財政年報】

2 財 政



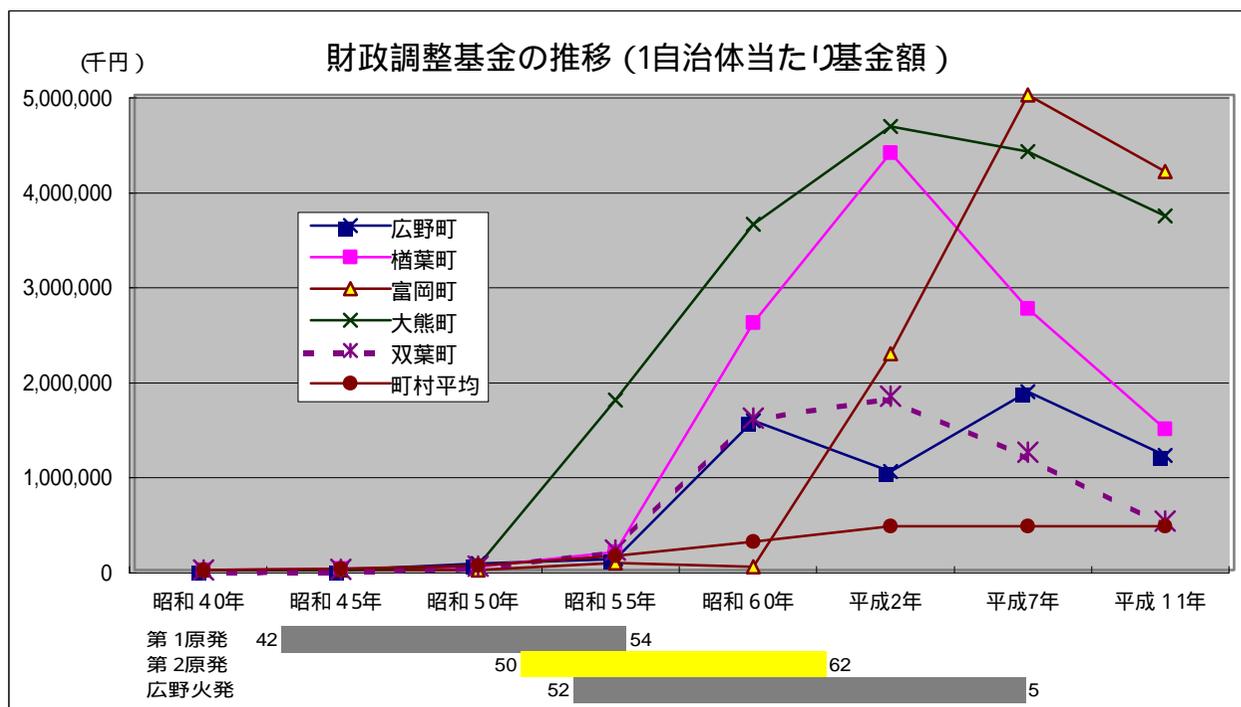
() 公債費比率 = $\frac{\text{地方債の元利償還金のうち特財充当分及び繰上償還分を除いた一般財源等} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額}}{\text{標準財政規模} - \text{災害復旧費等に係る基準財政需要額}}$

	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成11年
広野町	7.4	9.3	10.0	3.0	4.5	4.0	5.5
楢葉町	5.8	7.1	8.5	1.9	4.9	6.1	7.9
富岡町	7.0	8.3	11.4	11.8	5.5	5.4	10.0
大熊町	6.3	2.9	3.3	3.0	3.0	2.7	3.0
双葉町	11.3	5.5	4.2	7.5	8.3	8.9	15.5
町村計	5.1	6.2	9.3	12.5	10.4	12.2	14.2

全県的に公債費比率が高まる中で、双葉町を除き低水準を維持している。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村財政年報】

2 財 政



単位:千円

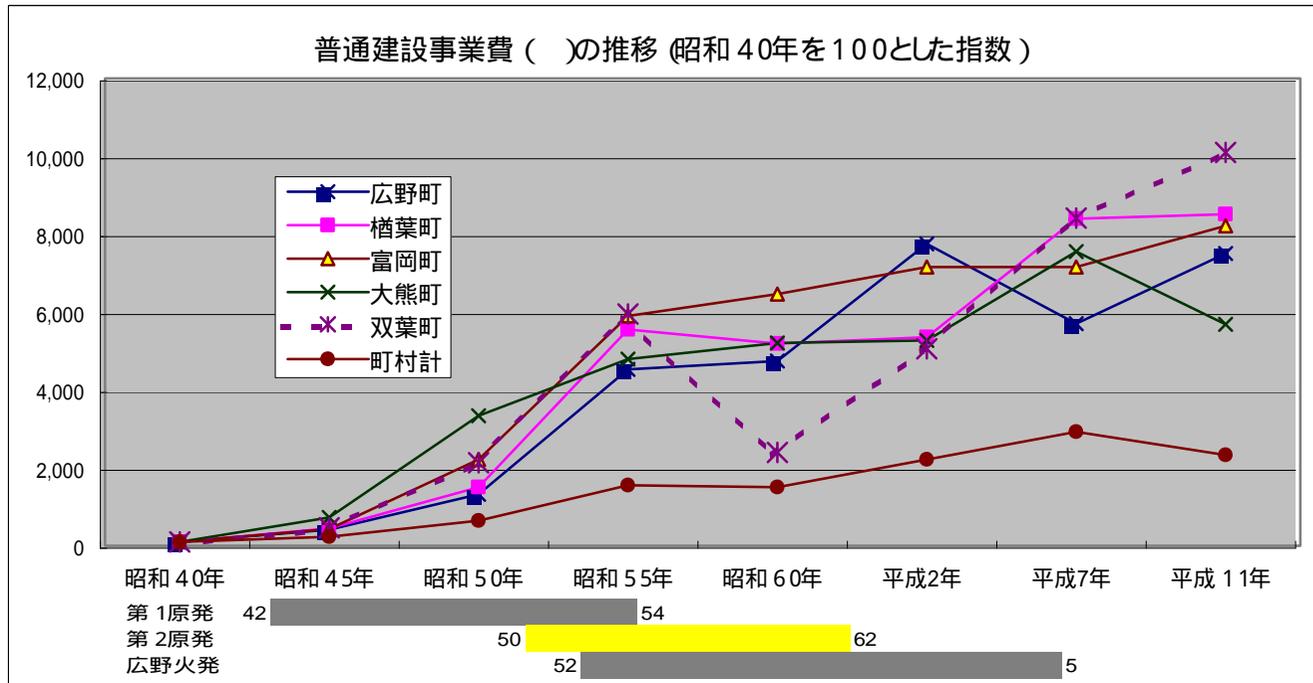
	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成11年
広野町	188	320	69,599	116,302	1,569,003	1,036,755	1,873,971	1,202,618
楢葉町	608	10,548	33,600	186,641	2,603,582	4,392,362	2,749,035	1,485,128
富岡町	0	0	0	77,240	35,898	2,279,781	5,000,000	4,195,065
大熊町	0	0	50,000	1,787,658	3,641,536	4,665,735	4,406,767	3,728,636
双葉町	1,500	3,658	42,458	210,168	1,600,168	1,828,168	1,239,872	515,286
町村平均	3,373	11,071	49,520	149,901	296,295	460,875	458,950	457,633

全体的に規模が増大している中で、立地5町は発電所の立地以降、急激な規模の増大を示したが、近年は減少傾向にある。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】

【出所 市町村財政年報】

2 財政



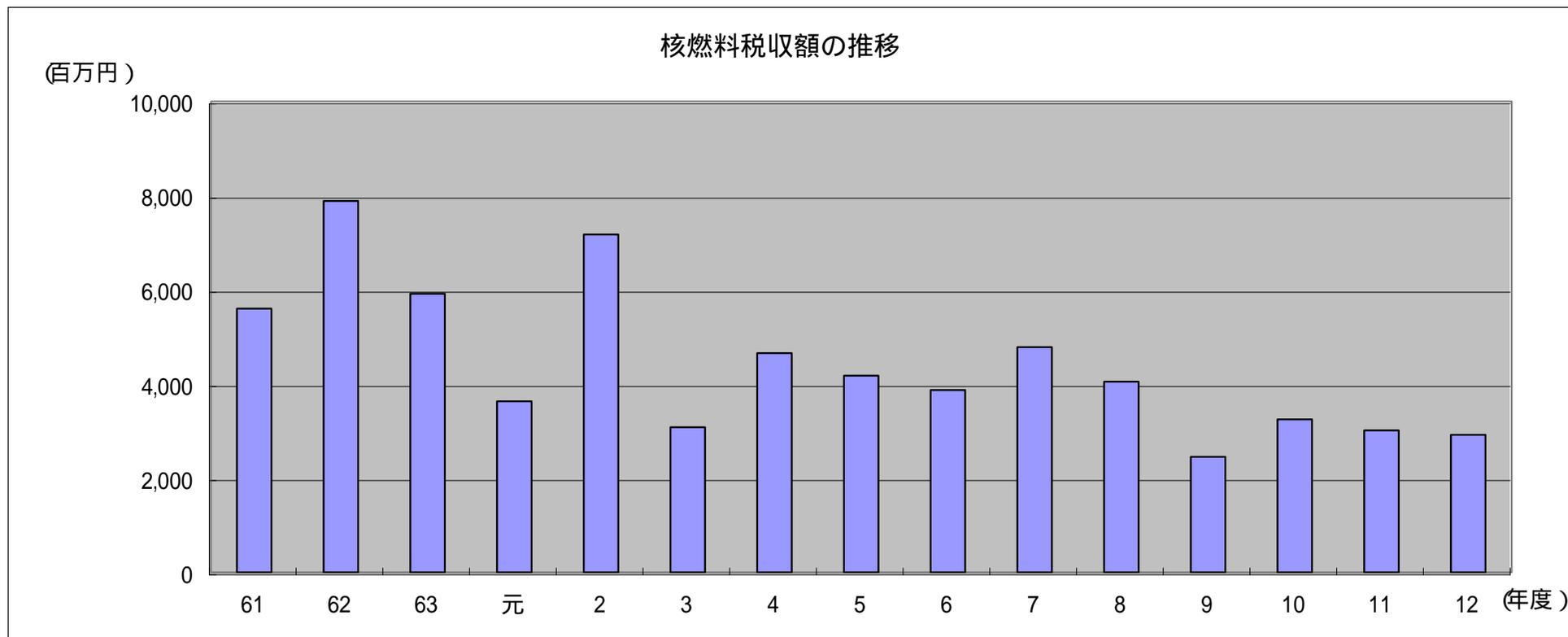
() 普通建設事業費...道路、橋梁、学校等の公共用施設の新増設等の建設事業に要する投資的経費

	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成11年
広野町	100	413	1,322	4,522	4,739	7,752	5,709	7,504
檜葉町	100	441	1,503	5,556	5,185	5,356	8,391	8,512
富岡町	100	429	2,213	5,908	6,467	7,154	7,163	8,208
大熊町	100	731	3,341	4,800	5,214	5,276	7,559	5,693
双葉町	100	465	2,139	5,957	2,391	5,052	8,409	10,091
町村計	100	237	642	1,552	1,498	2,209	2,918	2,322

全県的に規模が増大している中で、立地5町は発電所の立地以降、急激な規模の増大を示している。現在も県内町村値に比べ高い水準となっている。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村財政年報】

2 財 政



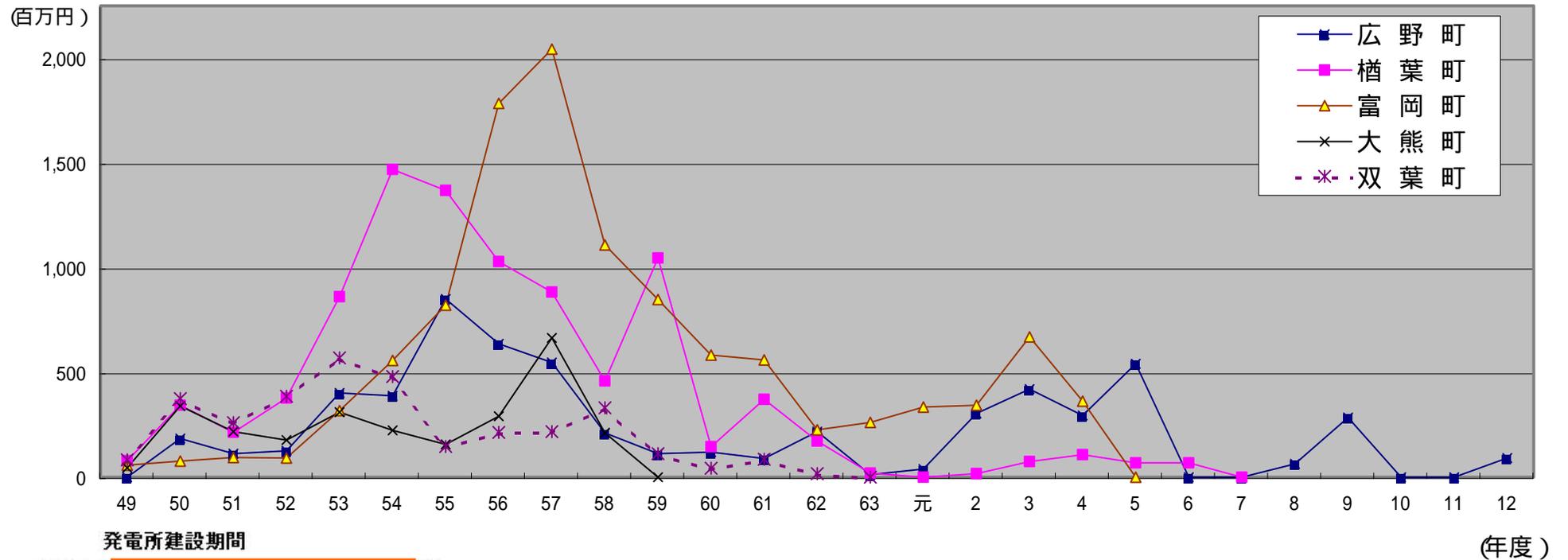
年度	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
税収額	5,600	7,884	5,919	3,634	7,176	3,079	4,653	4,177	3,871	4,783	4,050	2,450	3,248	3,015	2,920

平成10年度以降、核燃料税収は30億円前後で推移しており、平成12年度の税収は、ピーク時の昭和62年度と比較すると約3分の1になっている。なお、税収の7分の2が年度毎に原発立地4町及び周辺町村に還元されている。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 福島県調べ】

2 財 政

電源立地促進対策交付金の推移



発電所建設期間



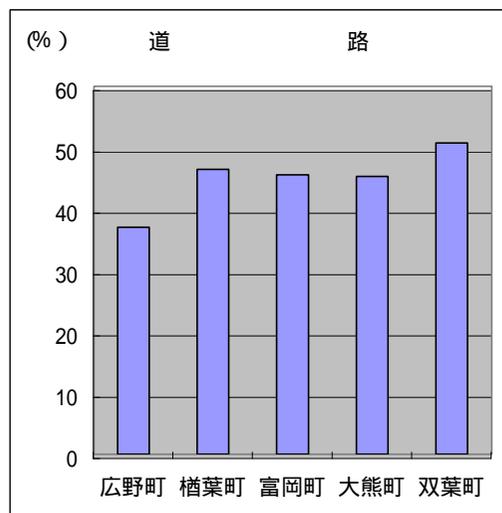
	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
広野町	0	184	113	126	402	389	851	637	547	211	113	120	89	218	12	39	304	420	294	542	0	0	63	285	0	0	92	6,051
榎葉町	78	344	214	378	862	1,469	1,369	1,029	884	460	1,046	146	372	172	19	0	17	74	107	69	69	0	0	0	0	0	0	9,178
富岡町	57	77	94	92	318	557	821	1,784	2,043	1,108	848	583	560	226	262	335	343	670	363	0	0	0	0	0	0	0	0	11,141
大熊町	45	340	217	177	311	224	157	291	665	211	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,638
双葉町	83	375	260	386	570	480	147	214	218	331	113	43	85	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,322

電源立地促進対策交付金 発電用施設が所在する市町村及びその隣接市町村等に対して、施設規模により算定される交付金額が、発電用施設の工事着工年度から運転開始して5年後までの間に交付される。

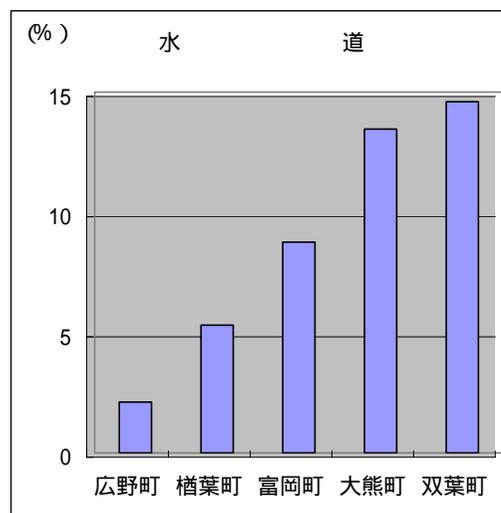
【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 福島県調べ】

2 財 政

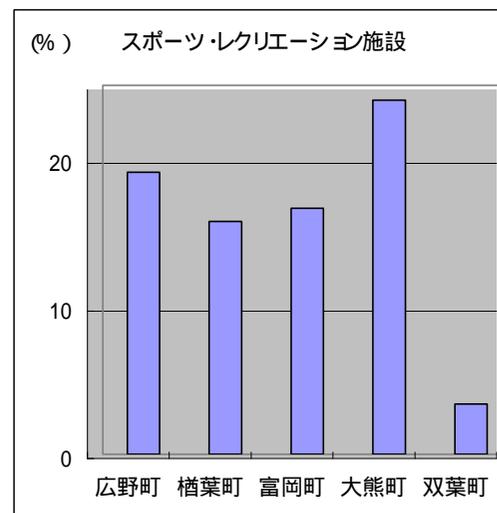
電 源 三 法 交 付 金 の 使 途 (1)



	広野町	楢葉町	富岡町	大熊町	双葉町
割合	37.0	46.5	45.6	45.3	50.8
交付金 (百万円)	2,238	4,265	5,076	1,195	1,687

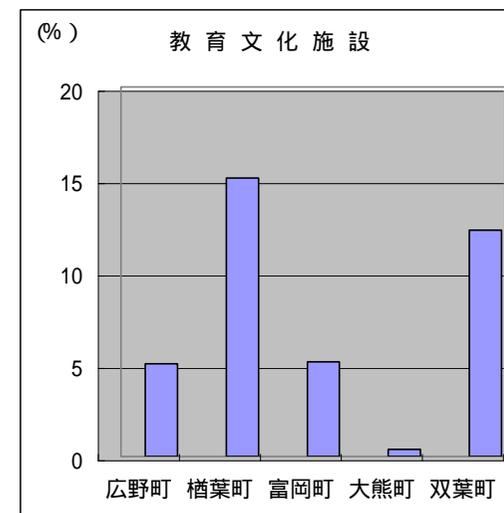


	広野町	楢葉町	富岡町	大熊町	双葉町
割合	2.1	5.3	8.8	13.5	14.6
交付金 (百万円)	128	487	976	355	485



	広野町	楢葉町	富岡町	大熊町	双葉町
割合	19.1	15.8	16.7	24	3.4
交付金 (百万円)	1,157	1,448	1,857	633	113

スポーツ・レクリエーション施設
 体育館、水泳プール、運動場、公園、遊歩道等



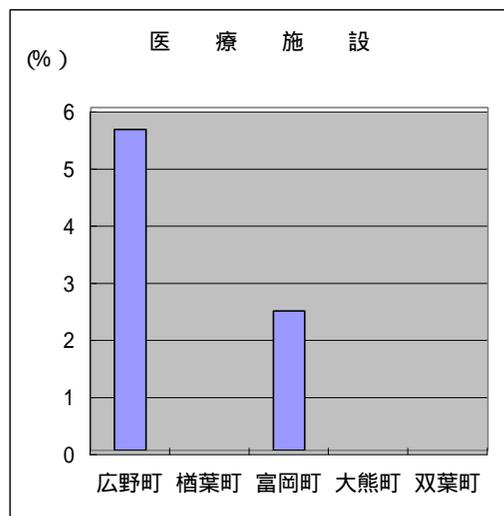
	広野町	楢葉町	富岡町	大熊町	双葉町
割合	5.0	15.1	5.1	0.4	12.3
交付金 (百万円)	304	1,383	570	10	407

教育文化施設
 学校、公民館、図書館、集会所、幼稚園、
 文化会館等

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
 【出所 福島県調べ】

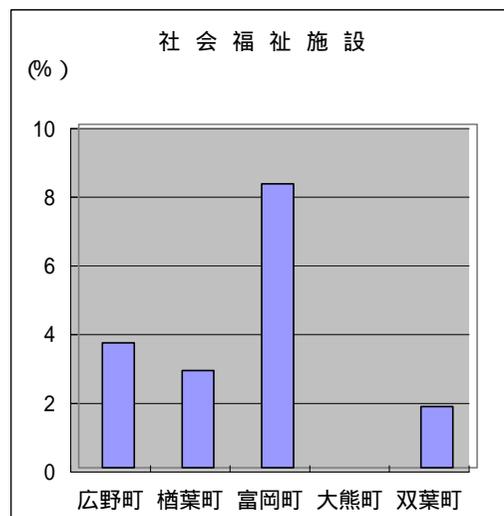
2 財 政

電 源 三 法 交 付 金 の 使 途 (2)



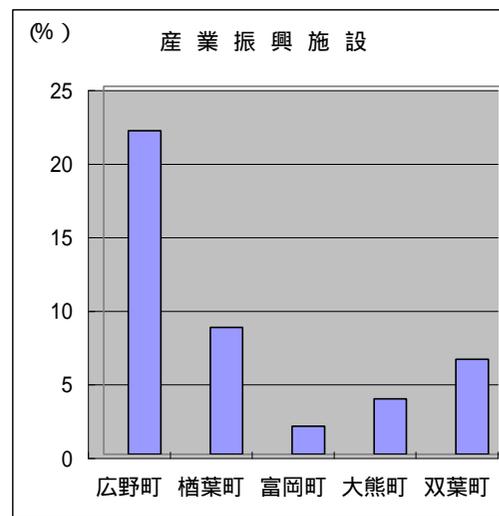
	広野町	楢葉町	富岡町	大熊町	双葉町
割合	5.6	0	2.4	0	0
交付金 (百万円)	340	0	272	0	0

医療施設
病院、診療所、保健センター等



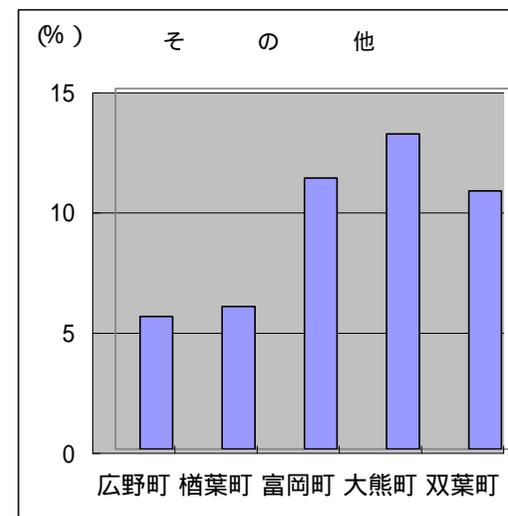
	広野町	楢葉町	富岡町	大熊町	双葉町
割合	3.6	2.8	8.3	0	1.8
交付金 (百万円)	220	260	921	0	59

社会福祉施設
児童館、保育所、老人福祉施設等



	広野町	楢葉町	富岡町	大熊町	双葉町
割合	22.0	8.6	1.9	3.8	6.4
交付金 (百万円)	1,330	791	212	99	214

産業振興施設
農林水産業、観光業、商工業に係る施設



	広野町	楢葉町	富岡町	大熊町	双葉町
割合	5.5	5.9	11.3	13.1	10.7
交付金 (百万円)	334	544	1,257	346	357

その他の内訳
漁港、通信施設、環境衛生施設、消防施設等

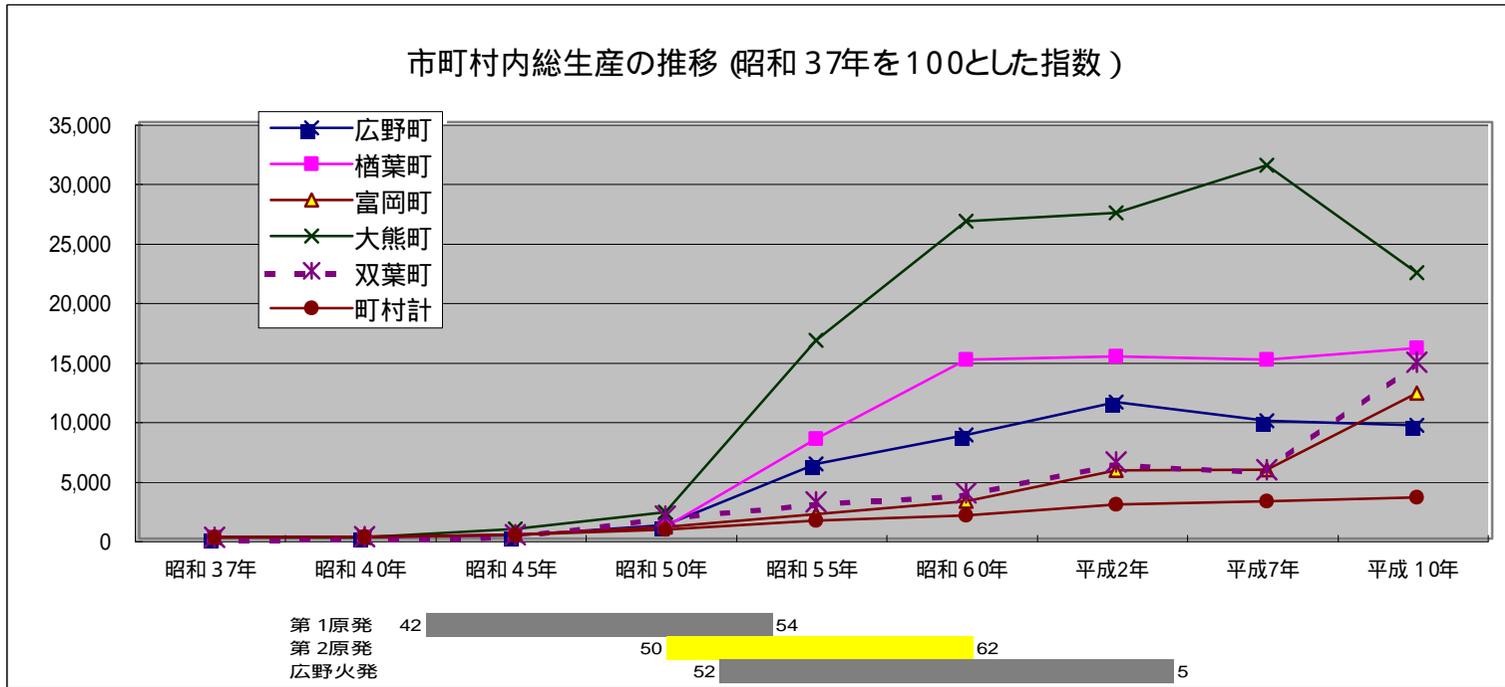
【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 福島県調べ】

参考 立地 5町における電源三法交付金等による施設整備の状況について

掲載条件 :各町が整備主体となり 交付金等が1億円以上充当されたスポーツ、教育文化、医療、社会福祉、産業振興の主な施設
(単位 :千円)

市町村名	施設名	対象年度	事業費	交付金等額	制度名	
広野町	町民会館	S52~S57	510,571	510,571	電源立地促進対策交付金	
	総合グラント	S54~S57	761,013	746,819	電源立地促進対策交付金	
	老人福祉センター	S56	180,480	180,480	電源立地促進対策交付金	
	町保育所	S62	142,500	140,000	電源立地促進対策交付金	
	広野ふるさと村	H2~H5	1,057,695	929,049	電源立地促進対策交付金	
	保健センター	H5	349,750	340,000	電源立地促進対策交付金	
檜葉町	町民体育館	S50	134,903	134,903	電源立地促進対策交付金	
	南幼稚園	S53	104,482	104,482	電源立地促進対策交付金	
	北保育所	S54	109,005	109,005	電源立地促進対策交付金	
	天神岬スポーツ公園	S54~S56	173,417	171,784	電源立地促進対策交付金	
	町民総合グラント	S54~S59	1,388,912	1,100,000	電源立地促進対策交付金	
	南保育所	S55	130,997	130,997	電源立地促進対策交付金	
	下繁用水路	S55	127,168	127,168	電源立地促進対策交付金	
	コミュニティセンター	S56~S59	1,442,154	700,000	電源立地促進対策交付金	
	檜葉中学校武道館	S59	125,738	125,738	電源立地促進対策交付金	
	保健福祉会館	S63~H元	505,000	300,028	核燃料税交付金	
	パノラマ温泉	H10~H11	363,300	350,000	長期発展対策交付金	
富岡町	野球場	S54~S55	108,328	108,328	電源立地促進対策交付金	
	富岡第二中学校改築	S54	211,030	211,030	電源立地促進対策交付金	
	町民総合運動場	S55~S56	181,922	181,922	電源立地促進対策交付金	
	総合スポーツセンター	S55~S57	1,521,109	1,521,066	電源立地促進対策交付金	
	夜の森保育所改築	S55	154,972	154,972	電源立地促進対策交付金	
	富岡第二中学校屋内運動場	S56	178,426	178,426	電源立地促進対策交付金	
	学校給食共同調理場	S56~S57	149,373	149,373	電源立地促進対策交付金	
	養護老人ホーム東風荘	S56~S58	418,914	418,914	電源立地促進対策交付金	
	総合福祉センター	S58~S59	257,405	257,405	電源立地促進対策交付金	
	野外活動施設	S61~S62	358,979	105,777	特定町村振興補助金(核燃料税)	
	武道館	S63	261,941	163,959	核燃料税交付金	
	保健センター	H3~H4	302,739	271,872	電源立地促進対策交付金	
	合宿交流館	H7~H8	351,811	275,739	核燃料税交付金	
	大熊町	スポーツセンター管理棟	S50	152,000	109,200	電源立地促進対策交付金
		野球場	S51~S53	176,736	176,736	電源立地促進対策交付金
		総合グラント	S56~S57	244,850	232,405	電源立地促進対策交付金
テニスコート		S63	131,944	120,000	核燃料税交付金	
図書館、民俗伝承館		H7~H8	1,122,644	246,709	核燃料税交付金	
西大和久地区体育館		H10	1,899,242	109,738	核燃料税交付金	
双葉町	町立図書館	S58	291,872	205,000	電源立地促進対策交付金	
	総合運動公園	H7	1,237,540	399,053	核燃料税交付金	

3 所得

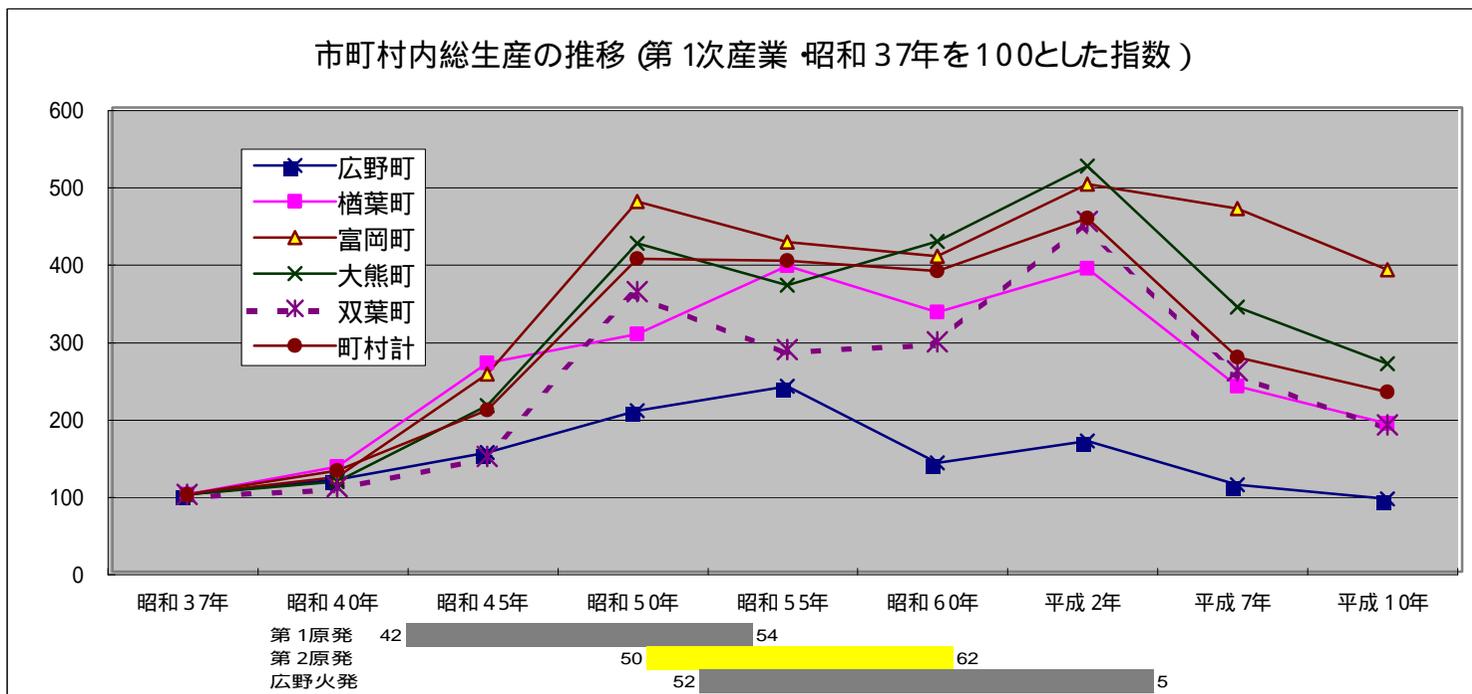


	昭和37年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成10年
広野町	100	140	284	1,132	6,292	8,695	11,494	9,905	9,541
楢葉町	100	133	298	972	8,372	15,026	15,305	15,062	15,999
富岡町	100	131	310	1,000	2,042	3,114	5,715	5,793	12,205
大熊町	100	131	825	2,244	16,667	26,660	27,351	31,398	22,367
双葉町	100	139	305	1,876	3,078	3,847	6,442	5,773	14,824
町村計	100	148	308	773	1,514	1,949	2,872	3,122	3,438

全県的に規模が増大している中で、立地5町は発電所の立地以降、急激な規模の増大を示しており、現在も町村計より高い伸びを示している。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村民所得推計】

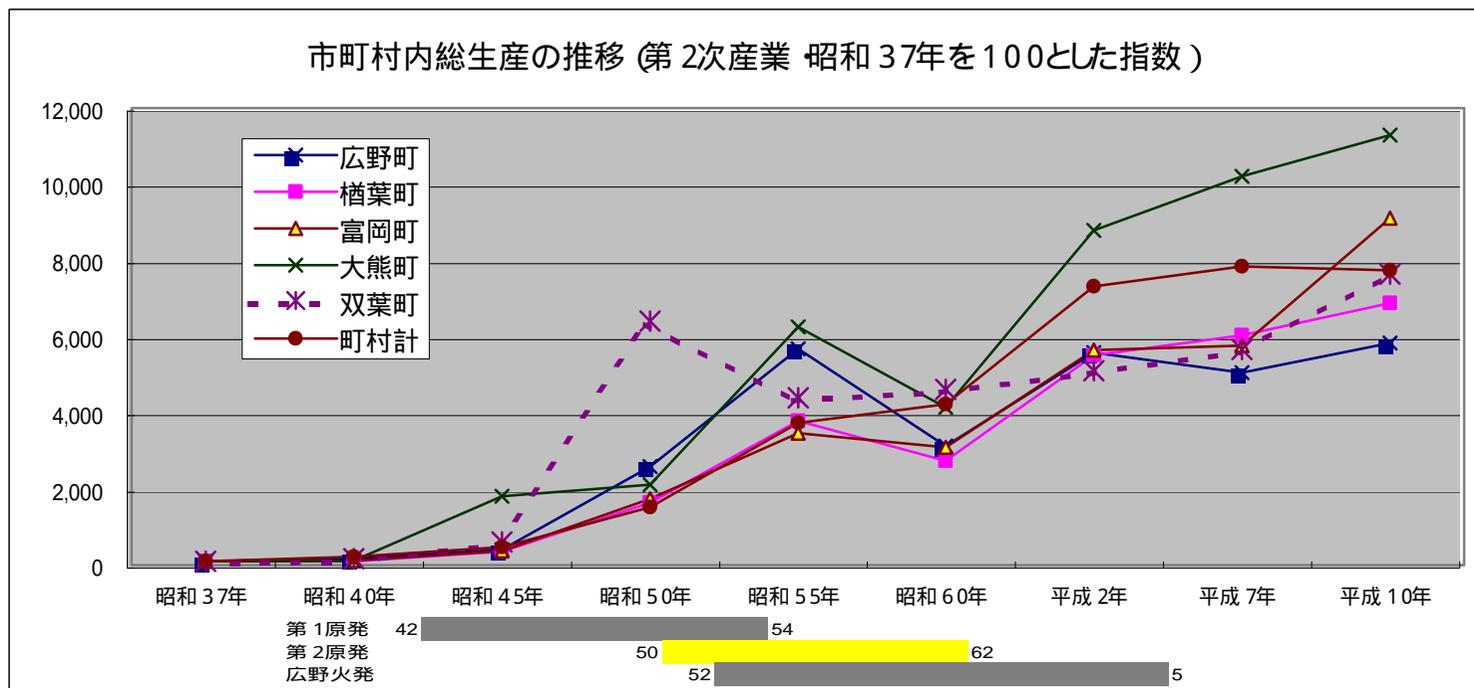
3 所得



	昭和37年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成10年
広野町	100	119	154	208	240	141	169	113	94
榎葉町	100	136	270	307	396	336	392	240	191
富岡町	100	123	255	479	426	407	501	469	390
大熊町	100	117	214	424	370	427	524	342	269
双葉町	100	110	149	362	287	297	453	260	190
町村計	100	131	209	405	402	389	457	277	232

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村民所得推計】

3 所得



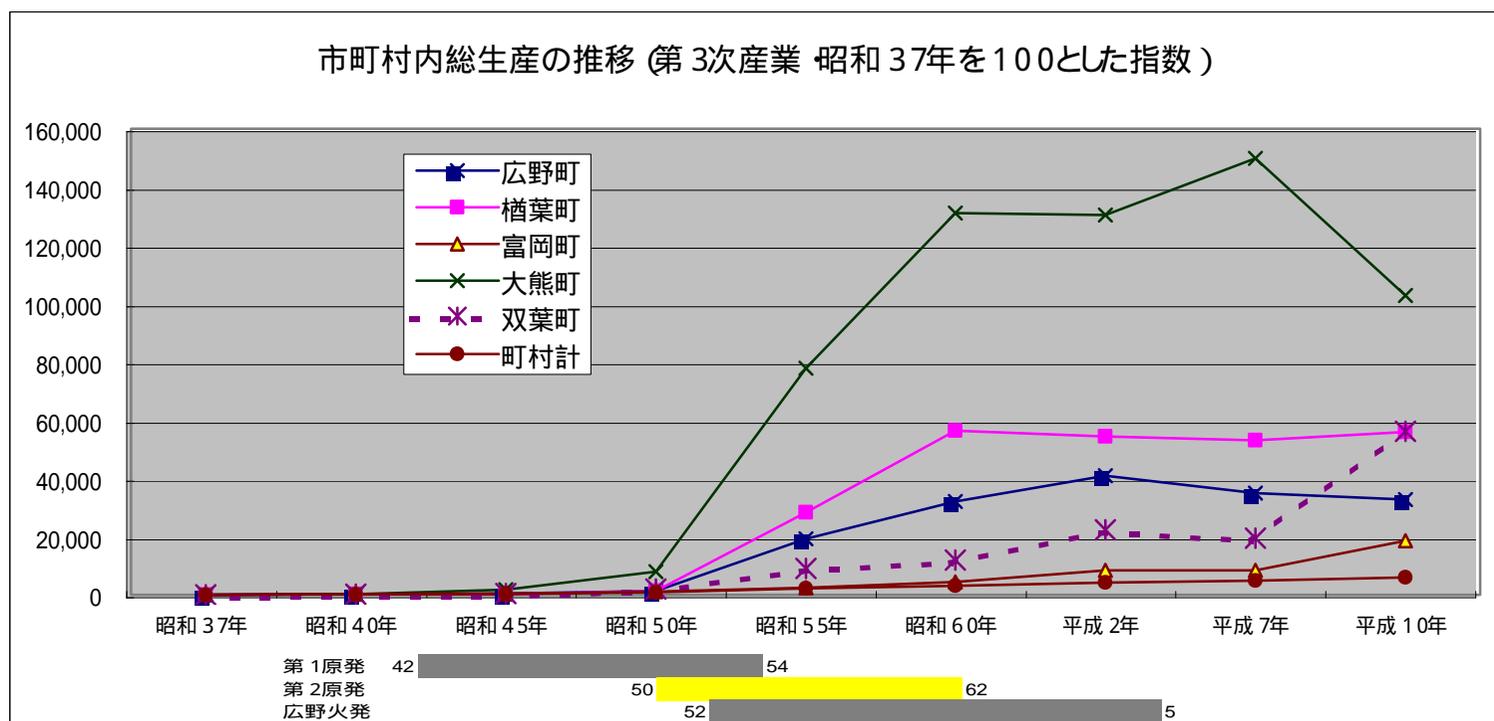
	昭和37年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成10年
広野町	100	176	412	2,584	5,683	3,127	5,579	5,060	5,834
榎葉町	100	94	353	1,646	3,780	2,736	5,502	6,028	6,884
富岡町	100	126	367	1,736	3,468	3,094	5,645	5,761	9,117
大熊町	100	119	1807	2,107	6,262	4,146	8,781	10,208	11,292
双葉町	100	172	601	6,412	4,398	4,616	5,101	5,667	7,640
町村計	100	211	475	1,522	3,728	4,228	7,324	7,839	7,747

県内町村値は、おおむね増加傾向を示しているが、立地5町においては、それぞれ急激な変化が見られる。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】

【出所 市町村民所得推計】

3 所得

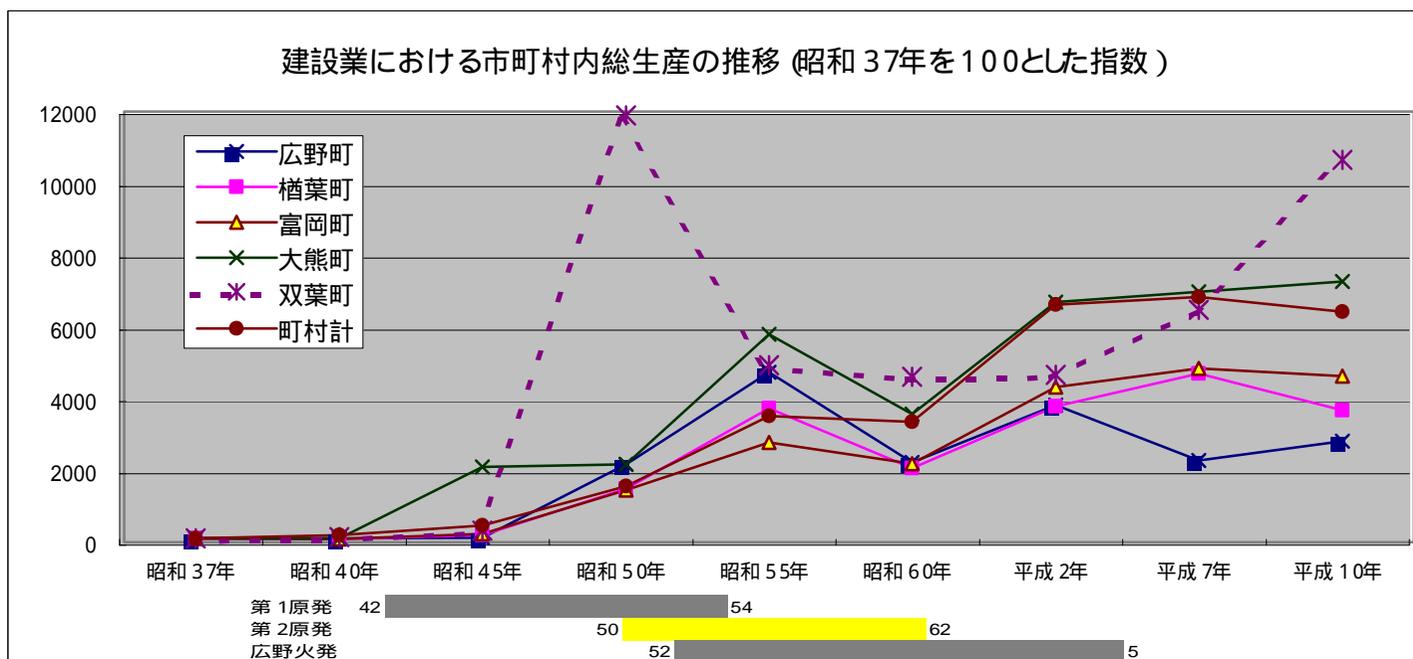


	昭和37年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成10年
広野町	100	143	401	1,379	19,166	31,956	40,970	34,966	32,745
楢葉町	100	173	289	1,428	28,392	56,249	54,431	52,965	55,950
富岡町	100	137	320	1,030	2,453	4,443	8,299	8,366	18,667
大熊町	100	186	1688	7,952	77,788	131,002	130,477	149,832	102,700
双葉町	100	184	450	2,004	9,014	12,019	22,369	19,467	56,120
町村計	100	141	365	916	2,226	3,140	4,277	4,964	6,045

全県的に規模が増大している中で、立地5町、とりわけ大熊町は発電所の立地以降、急激な規模の増大を示しており、現在も県内町村値に比べ高い伸びを示している。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村民所得推計】

3 所得



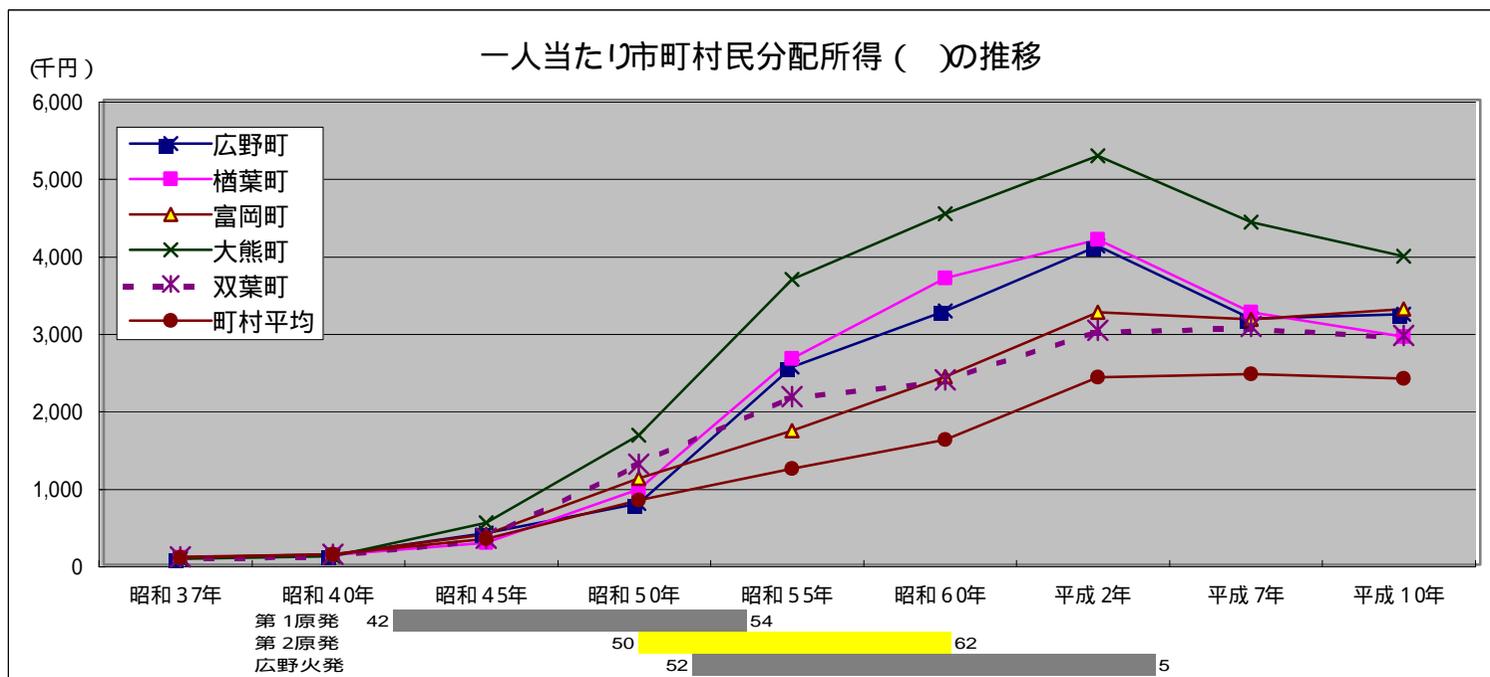
	昭和37年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成10年
広野町	100	114	131	2,176	4,739	2,216	3,827	2,284	2,824
楢葉町	100	93	193	1,496	3,737	2,067	3,791	4,704	3,674
富岡町	100	98	237	1,451	2,778	2,180	4,324	4,838	4,634
大熊町	100	114	2100	2,179	5,801	3,572	6,696	6,978	7,257
双葉町	100	152	321	11,889	4,936	4,602	4,666	6,468	10,661
町村計	100	199	470	1,567	3,509	3,360	6,625	6,839	6,430

全県的に規模が増大している中で、双葉町は他と異なる値を示している。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】

【出所 市町村民所得推計】

3 所得



() 分配所得の構成要素 雇用者所得、財産所得、企業所得

単位:千円

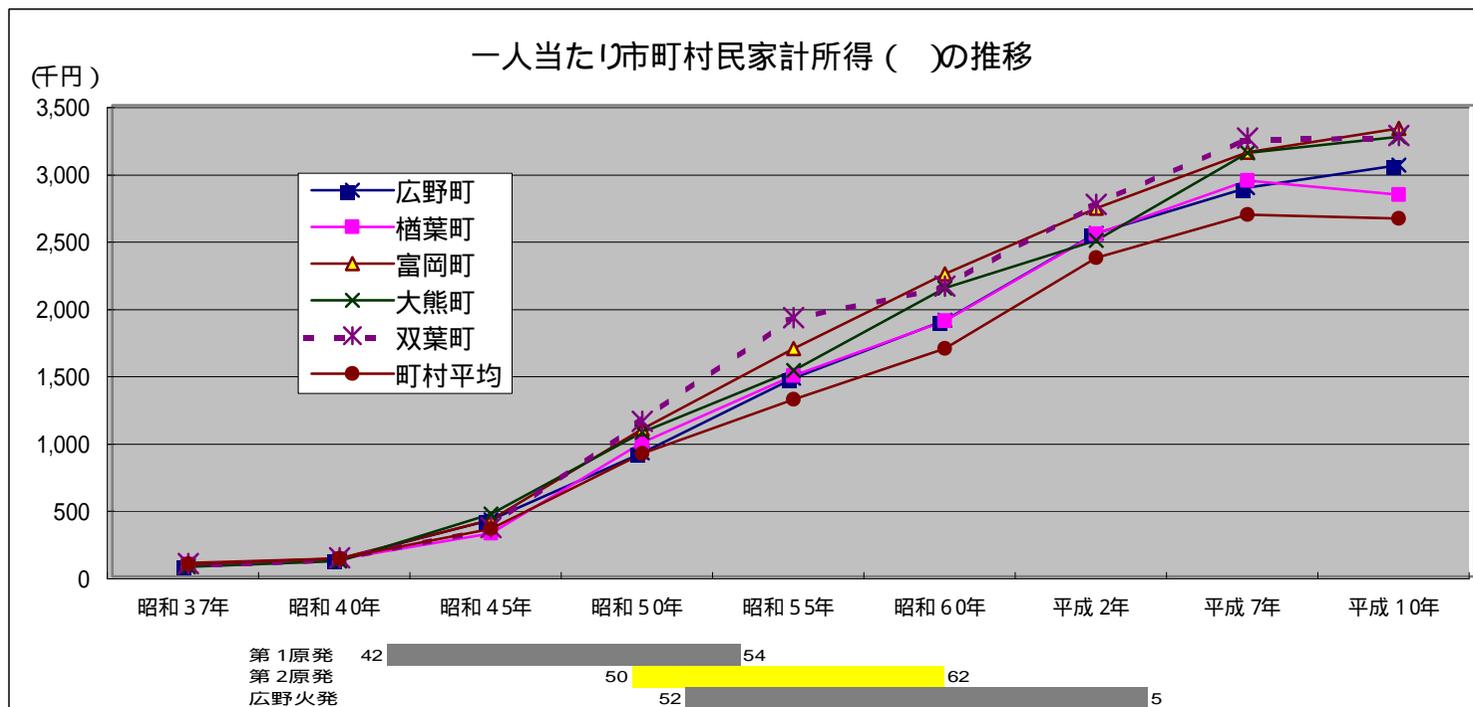
	昭和37年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成10年
広野町	86	122	408	789	2,555	3,273	4,110	3,173	3,233
榎葉町	92	125	285	970	2,662	3,699	4,193	3,254	2,942
富岡町	100	133	389	1,111	1,732	2,426	3,259	3,167	3,297
大熊町	71	111	543	1,673	3,681	4,532	5,280	4,422	3,983
双葉町	97	132	344	1,299	2,172	2,386	3,026	3,077	2,956
町村平均	92	132	334	831	1,238	1,612	2,422	2,460	2,400

全県的に規模が増大している中で、立地5町は発電所の立地以降、急激な規模の増大を示している。これは立地5町においては電気事業の民間法人所得が極めて高く、その企業規模に比し立地5町の経済規模、人口規模が小さいため、一人当たりの分配所得を押し上げていることによるものである。

【作成:福島県エネルギー政策検討会】

【出所:市町村民所得推計】

3 所得



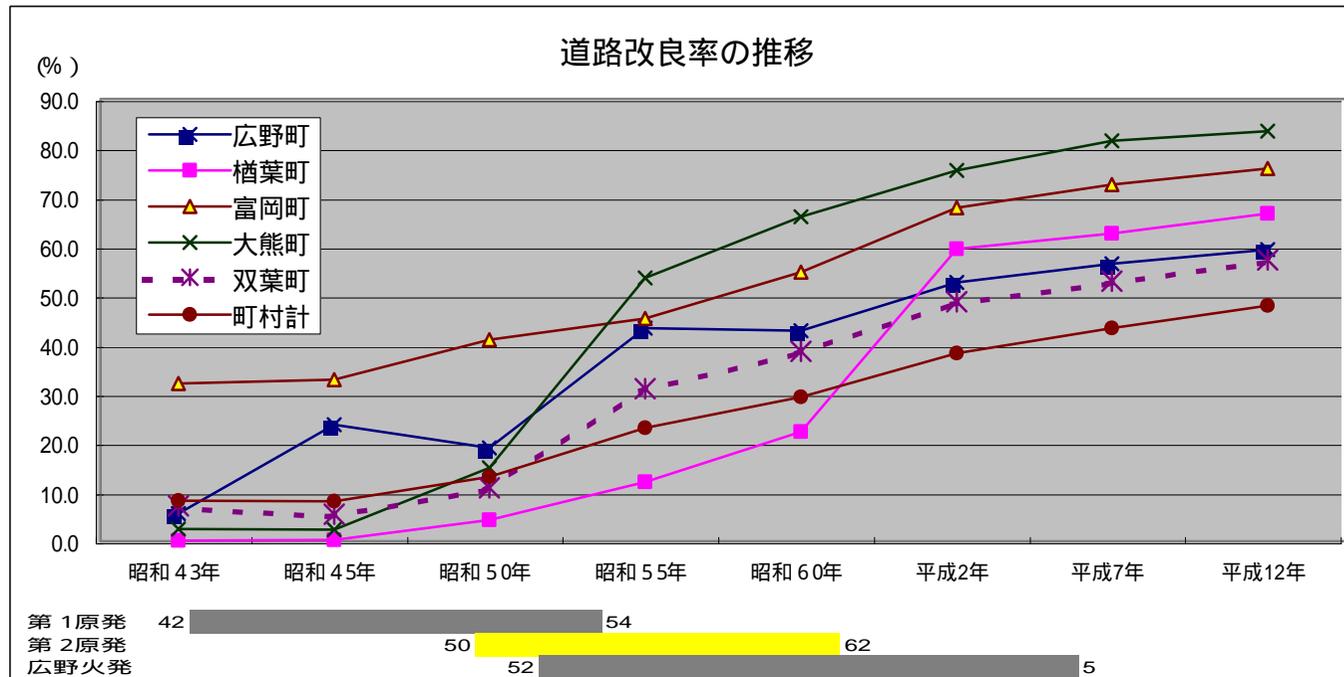
家計所得の構成要素 雇用者所得、財産所得のうち家計財産所得、企業所得のうち個人企業所得、社会保障給付等
単位：千円

	昭和37年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成10年
広野町	88	128	423	920	1,473	1,905	2,547	2,888	3,057
榎葉町	91	130	320	993	1,491	1,896	2,546	2,940	2,836
富岡町	99	136	419	1,097	1,691	2,247	2,736	3,150	3,327
大熊町	74	115	462	1,071	1,529	2,144	2,494	3,145	3,268
双葉町	97	139	364	1,154	1,921	2,156	2,766	3,257	3,274
町村平均	91	135	355	915	1,314	1,695	2,369	2,685	2,657

全県的に同様の動きを示しており、分配所得にみられるような大きな差はみられないものの、立地5町においては、町村平均に比べ高い水準を保っている。

【作成：福島県エネルギー政策検討会】
【出所：市町村民所得推計】

4 社会基盤



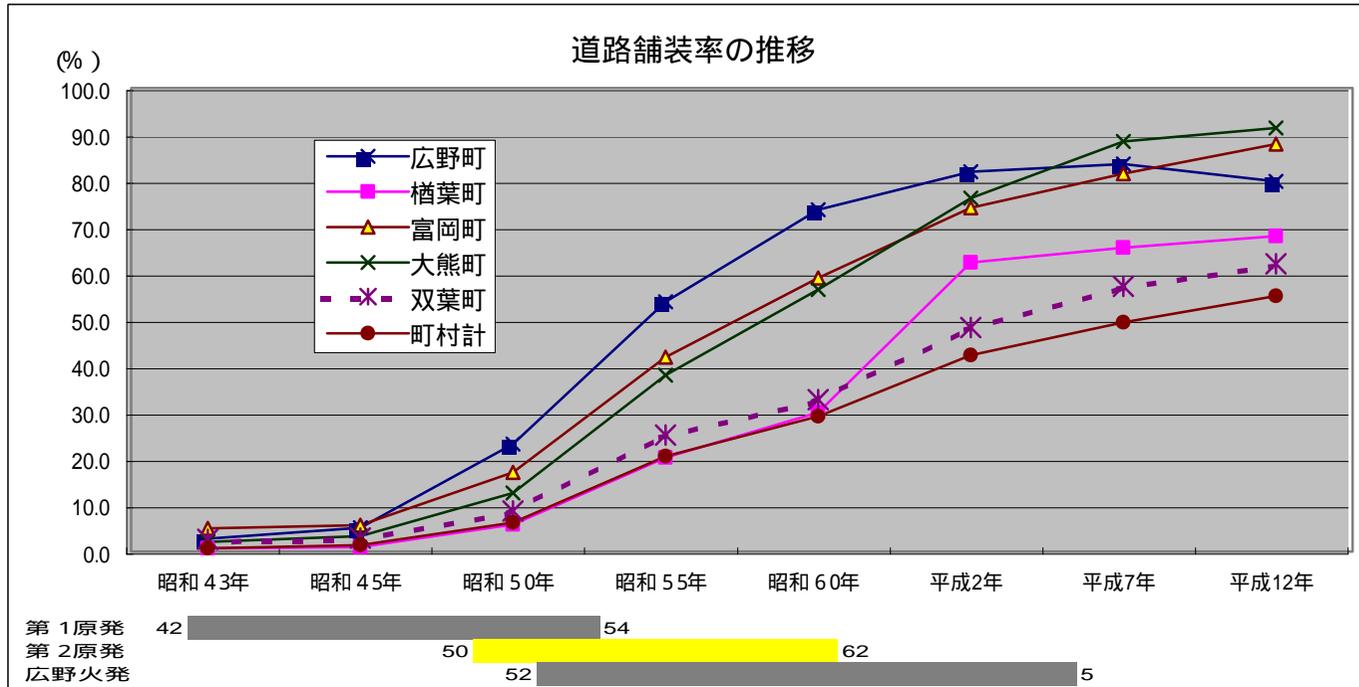
	昭和43年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
広野町	5.7	23.8	19.0	43.3	42.8	52.6	56.4	59.4
榎葉町	0.1	0.3	4.3	12.0	22.3	59.5	62.6	66.7
富岡町	32.0	32.9	41.0	45.3	54.8	67.9	72.6	75.8
大熊町	2.5	2.3	14.9	53.6	66.0	75.5	81.5	83.4
双葉町	7.2	5.6	10.9	31.1	38.7	48.7	52.9	57.2
町村計	8.2	8.1	13.1	23.1	29.3	38.2	43.3	48.0

全県的に改良率が向上している中で、立地5町は発電所の立地以降、大幅な改良率の向上を遂げている。これは、昭和49年度に制度化された電源三法に基づく電源立地促進対策交付金等を活用して、整備を図ったことによることが考えられる。その後、発電所運転開始後6年を経過し交付期間が終了したことにより電源三法交付金が減少したものの、豊富な税収を活用し改良率の向上を続けている。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】

【出所 市町村道の現況】

4 社会基盤

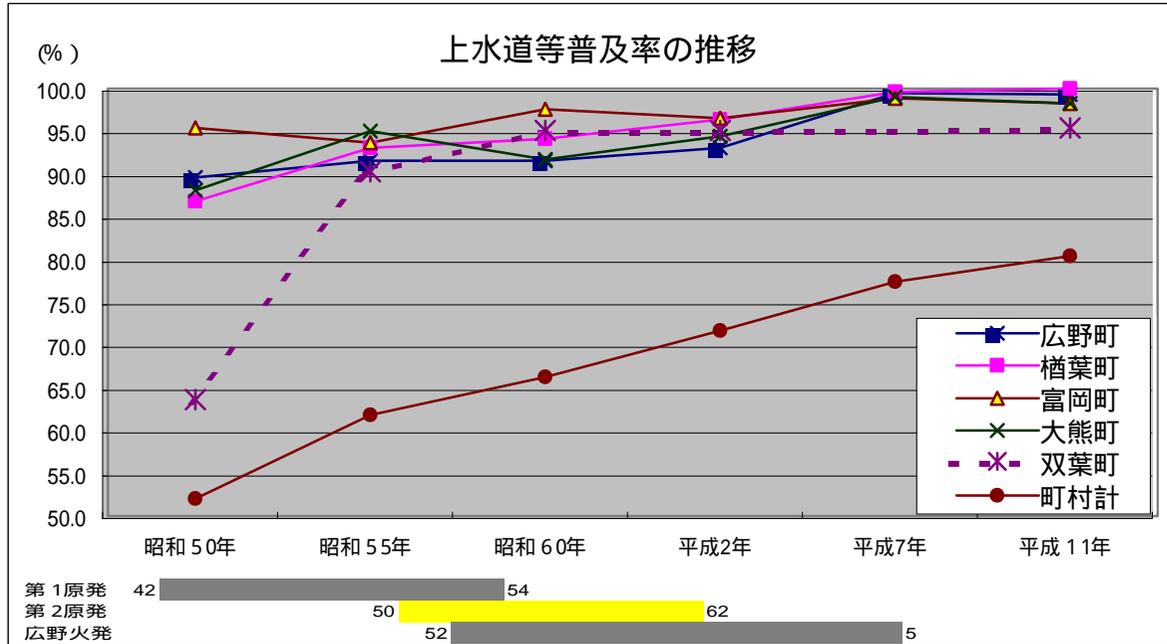


	昭和43年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
広野町	2.8	5.2	23.2	53.9	73.7	82.0	83.6	79.8
榎葉町	0.7	1.0	5.9	20.3	30.0	62.4	65.5	68.1
富岡町	5.0	5.7	17.1	41.9	59.0	74.1	81.5	87.9
大熊町	2.1	3.4	12.7	38.0	56.5	76.2	88.5	91.4
双葉町	2.6	2.9	8.7	25.2	32.8	48.3	57.2	62.1
町村計	0.7	1.3	6.3	20.6	29.2	42.3	49.4	55.1

全県的に舗装率が向上している中で、立地5町は発電所の立地以降、大幅な舗装率の向上を遂げている。これは、昭和49年度に制度化された電源三法に基づく電源立地促進対策交付金等を活用して、整備を図ったことによることが考えられる。その後、発電所運転開始後6年を経過し交付期間が終了したことにより電源三法交付金が減少したものの、豊富な税収を活用し舗装率の向上を続けている。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村道の現況】

4 社会基盤

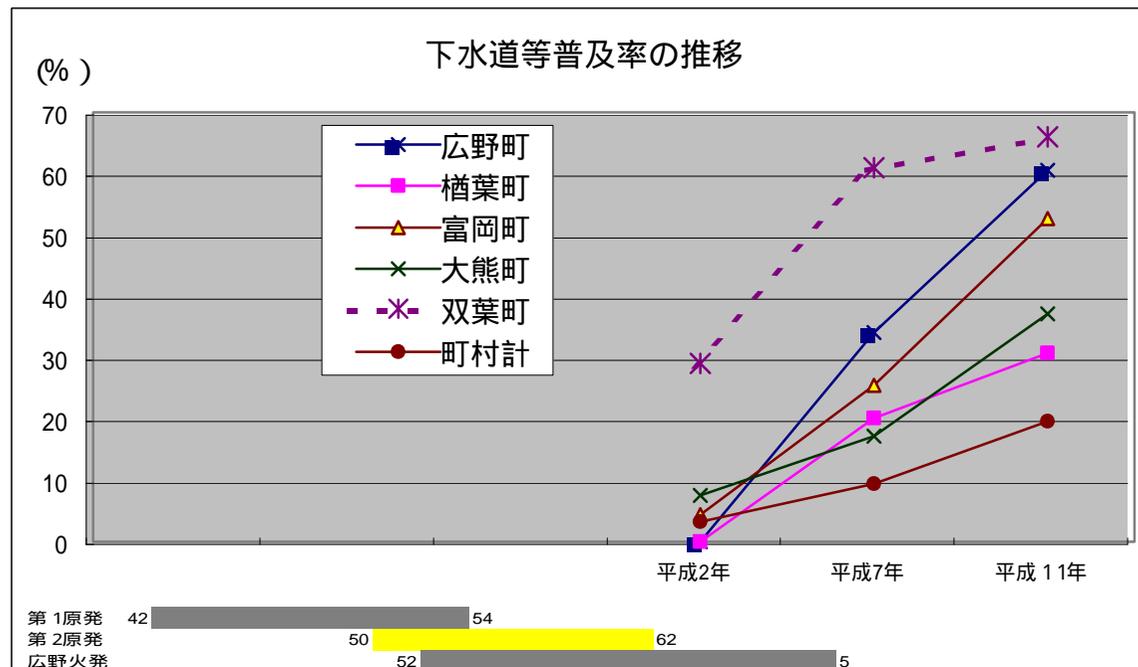


	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成11年
広野町	89.6	91.6	91.6	93.1	99.5	99.3
檜葉町	86.8	93.1	94.1	96.4	99.6	100.0
富岡町	95.4	93.7	97.6	96.5	98.9	98.3
大熊町	88.1	95.0	91.7	94.4	99.0	98.3
双葉町	63.6	90.3	95.1	95.1	—	95.4
町村計	52.0	61.8	66.3	71.7	77.4	80.4

全県的に普及率が向上している中で、立地5町は発電所の立地以降、他地域に比べ大幅な普及率の向上を遂げている。これは、昭和49年度に制度化された電源三法に基づく電源立地促進対策交付金等を活用して整備を図ったことが考えられる。その後、発電所運転開始後5年を経過し交付期間が終了したことにより電源三法交付金が減少したものの、豊富な税収を活用し普及率の向上を続けている。

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村財政年報】

4 社会基盤

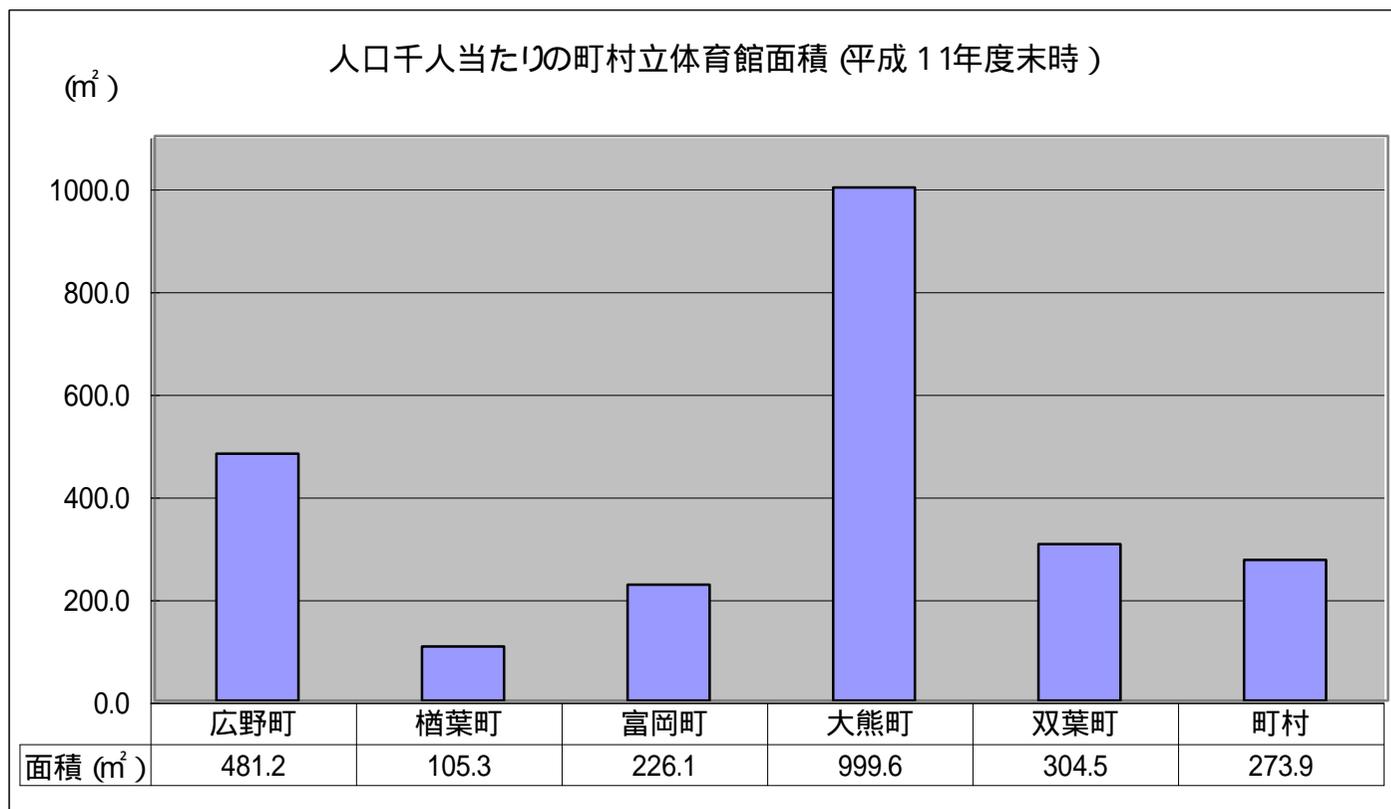


	平成2年	平成7年	平成11年
広野町	-	34.1	60.6
榎葉町	-	20.2	30.8
富岡町	4.4	25.5	52.7
大熊町	7.6	17.2	37.2
双葉町	29.1	61.0	66.0
町村計	3.3	9.4	19.6

全県的に普及率が向上している中で、立地5町は近年普及率の向上がみられる。下水道等については、昭和49年度に制度化された電源三法に基づく電源立地促進対策交付金等を活用していないが、当該交付金によりインフラ整備が一段落した後に、豊富な税収を活用し普及率の向上を図っているものと考えられる。

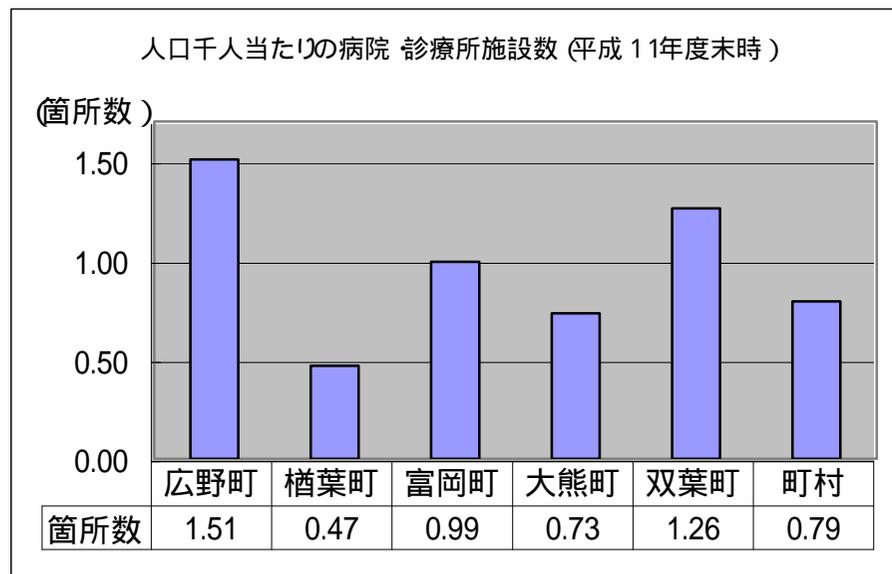
【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村財政年報】

4 社会基盤



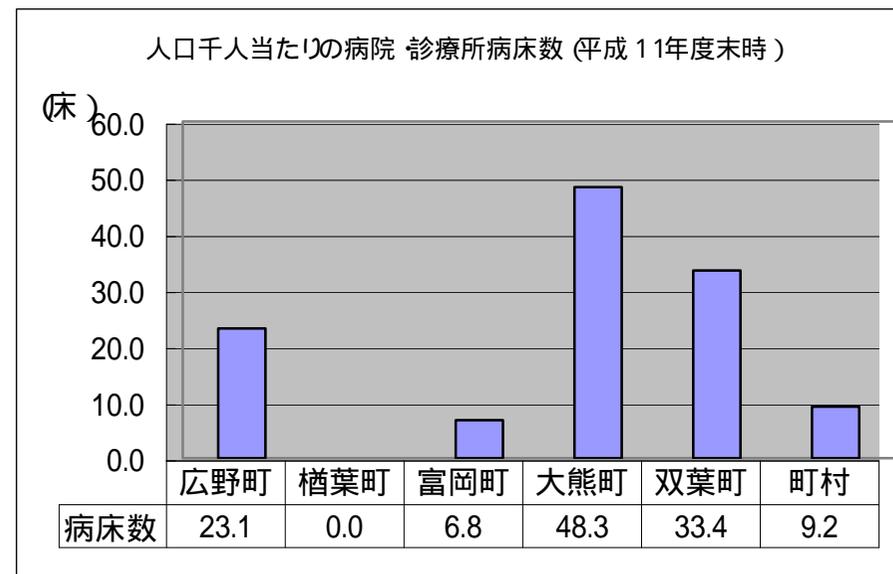
【作成 福島県エネルギー政策検討会】
【出所 市町村財政年報、福島県の人口】

4 社会基盤



施設数

	病院	診療所
広野町	1	8
楢葉町	0	4
富岡町	1	15
大熊町	2	6
双葉町	1	9
町村	40	559

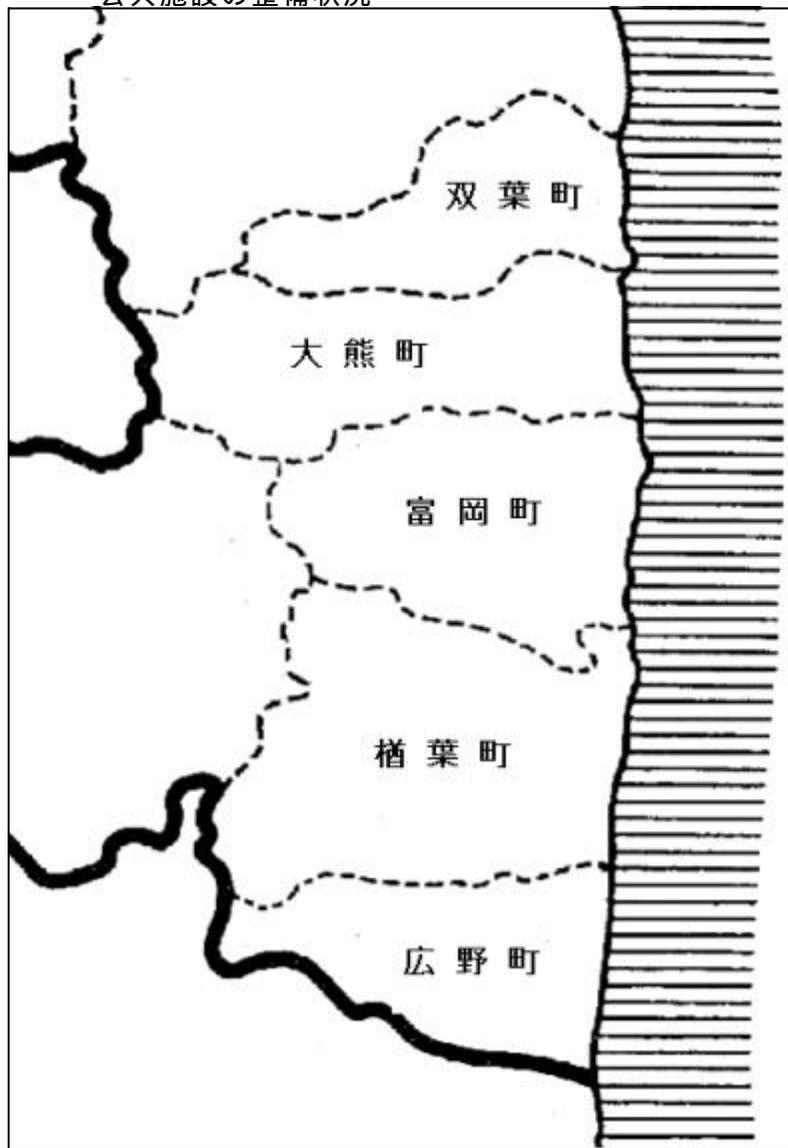


病床数

	病院	診療所
広野町	138	0
楢葉町	0	0
富岡町	90	19
大熊町	508	19
双葉町	265	0
町村	6140	807

【作成 福島県エネルギー政策検討会】
 【出所 市町村財政年報、福島県の人口】

4 社会基盤 公共施設の整備状況



双葉町

保育所... 1	幼稚園... 2	児童館... 1	
小学校... 2	中学校... 1	公民館... 1	体育館... 1

【その他の施設】
 図書館
 双葉総合公園（多目的グラウンド、テニスコート、）
 歴史民俗資料館
 双葉町コミュニティセンター

大熊町

保育所... 1	幼稚園... 2	児童館... 1	
小学校... 2	中学校... 1	公民館... 1	体育館... 3

【その他の施設】
 大熊町図書館
 大熊町文化センター
 大熊町民俗伝承館（図書館に併設）
 大熊町総合スポーツセンター（多目的グラウンド、体育館（再掲）、
 野球場、テニス場、武道館）
 グラウンド... 2（諏訪グラウンド、緑ヶ丘グラウンド）

富岡町

保育所... 2	幼稚園... 3	児童館... 3	
小学校... 2	中学校... 2	公民館... 2	体育館... 1

【その他の施設】
 富岡町文化センター
 富岡町総合スポーツセンター（多目的運動場、体育館（再掲）、野球場、
 テニスコート、武道館）
 ふれあいドーム（屋内運動場）
 富岡町総合運動場
 グリーンフィールド（富岡町野外活動センター）

楢葉町

保育所... 2	幼稚園... 2		
小学校... 3	中学校... 1	公民館... 1	体育館... 1

【その他の施設】
 楢葉町コミュニティセンター（ホール、図書室、歴史民俗資料館）
 楢葉町総合グラウンド（陸上競技場、サブグラウンド、野球場、テニス
 コート）
 天神岬スポーツ公園

広野町

保育所... 1	幼稚園... 1	児童館... 1	
小学校... 1	中学校... 1	公民館... 1	体育館... 2

【その他の施設】
 ニッ沼総合公園
 広野町総合グラウンド（多目的グラウンド、テニスコート）